

## 第48回

全国特別支援教育センター協議会

研究協議会（愛知県大会）

共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のさらなる推進  
—つながりをお大切にした特別支援教育を目指して—

# 聴取事項の集約結果

## 第1分科会 教育相談

多様なニーズに答える相談・支援の在り方

## 第2分科会 研 修

特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

## 第3分科会 調査・研究

地域の現状に応じた特別支援教育の推進に向けての調査・研究の取組

## 第4分科会 管理・運営

インクルーシブ教育システム推進に向けた特別支援教育センターの役割

期日 令和6年10月31日（木）・11月1日（金）

主催 全国特別支援教育センター協議会

主管 愛知県総合教育センター

後援 文 部 科 学 省

愛 知 県 教 育 委 員 会

# 目 次

第1分科会（教育相談）	．．．．．	1
第2分科会（研 修）	．．．．．	9
第3分科会（調査・研究）	．．．．．	21
第4分科会（管理・運営）	．．．．．	36

## 【調査対象 63 機関】

<p>2 北海道立特別支援教育センター</p> <p>3 青森県総合学校教育センター</p> <p>4 岩手県立総合教育センター</p> <p>5 宮城県総合教育センター</p> <p>6 秋田県総合教育センター</p> <p>7 山形県教育センター</p> <p>8 福島県特別支援教育センター</p> <p>9 茨城県教育研修センター</p> <p>10 栃木県総合教育センター</p> <p>11 群馬県総合教育センター</p> <p>12 埼玉県立総合教育センター</p> <p>13 千葉県総合教育センター</p> <p>14 東京都教職員研修センター</p> <p>15 神奈川県立総合教育センター</p> <p>16 新潟県立教育センター</p> <p>17 富山県総合教育センター</p> <p>18 石川県教員総合研修センター</p> <p>19 福井県特別支援教育センター</p> <p>20 山梨県総合教育センター</p> <p>21 長野県総合教育センター</p> <p>22 岐阜県総合教育センター</p> <p>23 静岡県総合教育センター</p> <p>24 愛知県総合教育センター</p> <p>25 三重県教育委員会事務局</p> <p>26 滋賀県総合教育センター</p> <p>27 京都府総合教育センター</p> <p>28 大阪府教育センター</p> <p>29 兵庫県総合援教育センター</p> <p>30 奈良県教育委員会事務局 特別支援教育推進室</p> <p>31 和歌山県教育センター学びの丘</p> <p>32 鳥取県教育センター</p> <p>33 島根県教育センター</p> <p>34 岡山県総合教育センター</p>	<p>35 広島県立教育センター</p> <p>36 やまぐち総合教育支援センター</p> <p>37 徳島県立総合教育センター</p> <p>38 香川県教育センター</p> <p>39 愛媛県総合教育センター</p> <p>40 高知県教育センター</p> <p>41 福岡県教育センター</p> <p>42 佐賀県教育センター</p> <p>43 長崎県教育センター</p> <p>44 熊本県立教育センター</p> <p>45 大分県教育センター</p> <p>46 宮崎県教育研修センター</p> <p>47 鹿児島県総合教育センター</p> <p>48 沖縄県立総合教育センター</p> <p>49 千葉市養護教育センター</p> <p>50 川崎市総合教育センター</p> <p>51 横浜市特別支援教育総合センター</p> <p>52 名古屋市教育センター</p> <p>53 京都市教育委員会事務局 指導部総合育成支援課</p> <p>54 大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進室</p> <p>55 広島市教育センター</p> <p>56 北九州市立特別支援教育相談センター</p> <p>57 福岡市教育委員会発達教育センター</p> <p>58 静岡市特別支援教育センター</p> <p>59 浜松市教育委員会 教育支援課 発達支援グループ</p> <p>60 新潟市立総合教育センター</p> <p>61 相模原市教育センター</p> <p>62 神戸市教育委員会 特別支援教育課 特別支援教育相談センター</p> <p>63 札幌市教育委員会事務局</p> <p>64 仙台市教育センター</p>
--	--

※機関番号1 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は、調査対象としていない。

第Ⅰ分科会

教育相談

## 第I分科会 教育相談に関する聴取事項の集約結果

主題 多様なニーズに応える相談・支援の在り方～高校生段階に焦点をあてて～

I 教育相談の現状について(令和5年度実績を記入、表中の数値は回答機関数を表す)

(1) 特別支援教育に関する来所相談実績 (未回答・未集計は0としてカウント)

### ① 来所相談の総ケース数

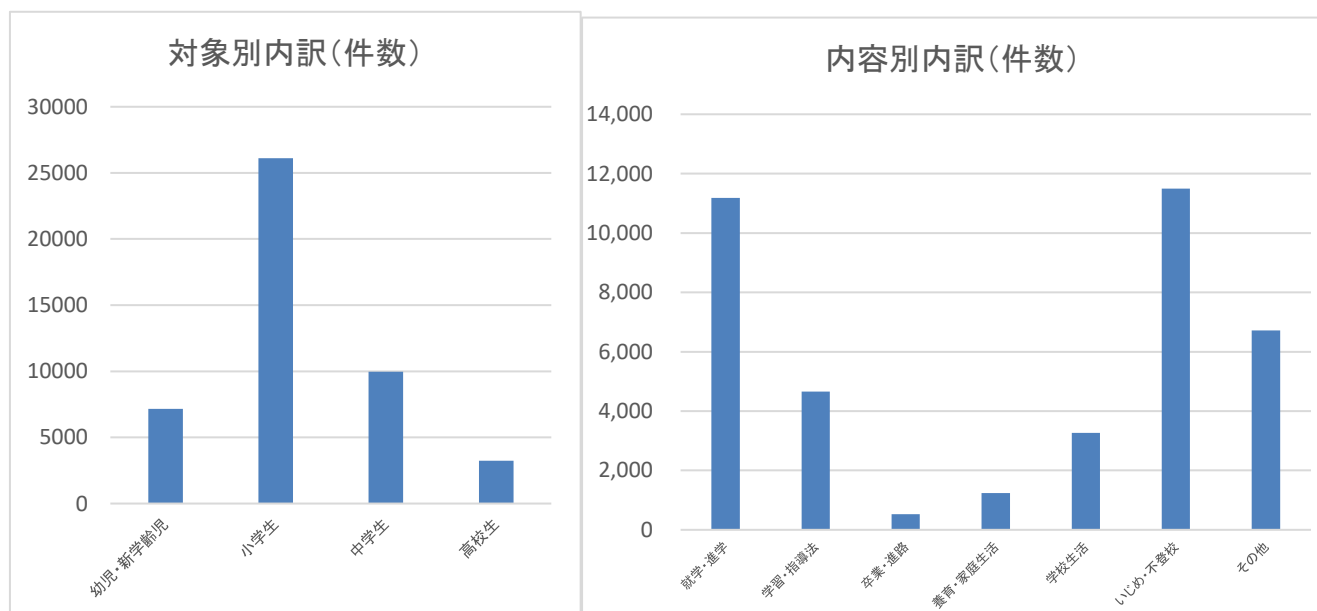
来所相談	件数 0 または未回答	1~100	101~200	201~500	501~1000	1001~2000	2001以上	計
総件数について	18	18	6	8	5	5	3	63

### ② 対象別内訳

対象	件数	0 または未回答	1~100	101~200	201~300	301~400	401~500	501以上	計
幼児・新学齢児	件数	37	17	2	1	0	2	4	63
小学生	件数	23	19	7	3	0	1	10	63
中学生	件数	25	30	3	3	1	0	1	63
高校生	件数	31	29	2	0	0	0	1	63

### ③ 内容別内訳

内容	件数	0 または未回答	1~100	101~200	201~300	301~400	401~500	501以上	計
就学先・進学	件数	35	18	1	3	0	2	4	63
学習・指導法	件数	31	20	3	2	1	3	3	63
卒業・進路	件数	43	18	2	0	0	0	0	63
養育・家庭生活	件数	42	20	0	0	0	0	1	63
学校生活 (対人関係等)	件数	34	21	4	1	1	0	2	63
いじめ・不登校	件数	39	21	1	1	0	0	1	63
その他	件数	40	17	3	1	0	0	2	63



(2) 特別支援教育に関する電話相談実績

電話相談の対象別内訳

対象	件数	0 または未回答	1~100	101~200	201~300	301~400	401~500	501以上	計
保護者	件数	21	21	9	2	2	3	5	63
本人	件数	44	17	1	1	0	0	0	63
その他	件数	26	29	2	1	1	0	4	63

## 2 教育相談において連携している主な機関

※(1)から3つ選択し、その連携内容・成果・課題を(2)～(4)から選択(3つまで)して回答

### (1) 機関名

	回答数
①発達障害者支援センター	11
②医療機関(医療センター等を含む)	16
③療育センター	8
④児童相談所(子ども家庭(相談)センター)	14
⑤園・学校等(保幼小中高義務教育学校等)	40
⑥特別支援学校	19
⑦大学・大学附属機関	7
⑧市町村教育委員会	20
⑨保健所・保健センター	1
⑩精神保健福祉センター	0
⑪ハローワーク(公共職業安定所)	0
⑫連携している機関はない	1
その他	4

計 141

※その他:県教育委員会、千葉県子どもと親のサポートセンター、市役所関係課、外部専門家(大学教授、臨床心理士等)

### (3) 成果

	回答数
①他機関との円滑な連携が可能	27
②より専門的な相談の実施	34
③医療的な視点からの相談	21
④支援対象や支援内容の幅の拡大	31
⑤情報収集や情報共有	83
⑥就学相談の推進	21
⑦支援の継続が可能	24
⑧学校・地域に密着した支援	20
⑨教職員、所員、相談員等の専門性の向上	36
⑩就労率の向上	0
⑪子どもの理解及び対応方針の明確化	47
その他	0

計 344

### (2) 連携内容

	回答数
①情報交換・情報共有	114
②医療的診断	8
③相談連携	74
④支援依頼	13
⑤検査依頼	4
⑥支援内容・方法の検討	53
⑦事例検討会	15
⑧支援会議	23
⑨指導・助言	26
⑩研修協力	20
その他	1

計 351

※その他:「教育相談における所見」の発行

### (4) 課題

	回答数
①関連機関との連携	17
②検討・協議時間の不足	32
③関連機関との日程調整	26
④個人情報保護を踏まえた情報共有と連携の在り方	41
⑤連携できる医療機関・診断機関の不足	16
⑥件数増加による対応	32
⑦意見調整(合理的配慮提供の際の合意形成含む)	18
⑧役割分担の明確化	26
⑨継続的な相談	24
⑩関係職員の専門性	33
その他	5

計 270

※その他:特になし、家庭支援、進学先への引継ぎ

## 3 教育相談の連携における課題について

※(1)連携における課題について選択肢から1つ選んで回答し、(2)に課題解決に向けた具体的な方策を記入

### ①他機関との連携の推進・強化 (9)

- ・特別支援学校が事務局となっている「地区特別支援連携協議会」との連携の推進・強化
- ・医療センターと定期的に連絡会を実施(内、事例検討会含む)。また、連携の在り方を市教委や学校、保護者に提示し、個別の教育支援計画の共有をする。
- ・引き続きケースに応じて、必要な機関と情報共有を行っていく。
- ・不登校を主訴とした相談の背景には、発達や人間関係、コミュニケーションに課題を抱えるものが多いことから、個に応じた適切な支援を行うために関係機関との情報共有と連携を図りたい。
- ・各市町村の相談体制についての共通理解(課題)
- ・市町村の関係機関の視察、担当者同士の連絡体制の構築
- ・市町教育委員会や発達障害者支援センターなどとの活発な意見交換と情報交流
- ・教育相談担当者または外部専門家による教育相談の内容や進捗に応じて、外部機関との連携が生じる可能性があるため、引き続き専門機関の情報を収集・整理して活用する。
- ・関係機関との連携会議の実施
- ・定期的な情報共有の場の設定
- ・就学相談の充実に向け、情報連携を密に行っている。

## ②相談担当者の専門性の向上（14）

- ・研修会等への参加
- ・研修会の実施
- ・教育相談の内容が多様化してきているため、様々な視点、専門的見地からの対応が求められている。
- ・複雑で深刻な相談が増加する中、相談担当者の入れ替わりがあり、専門性の維持・向上や、継続した連携に課題がある。
- ・就学相談については、市町教育委員会に適切な情報提供と助言ができるよう、担当者間で発達検査の結果や保護者面談の留意点について確認し合っている。
- ・教育相談担当者研修の実施、外部研修への参加による自己研鑽
- ・複雑化・多様化した課題を抱える幼児児童生徒の相談に適切に対応するため、教育相談の理論と技法について学ぶことにより、教員の相談力向上を図る。
- ・県障害福祉課・県教委特別支援教育課と連携しながら、発達障害に関する相談対応に必要な知識を深める。
- ・所内での研修会の実施
- ・当教育センターでは、これから教育相談担当となる特別支援学校の教員に向けた研修を行っており、専門性の向上に向け、研修内容を充実させる必要がある。
- ・スーパーバイザーとのケースカンファレンスの充実
- ・年5回のスキルアップ研修において、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに対し、センター主事や外部講師による幅広い分野の講義を実施している。
- ・心理検査結果の分析と支援の方法、保護者との相談内容について、引き続き定期的に臨床心理士を講師として研修を行っていく。
- ・学校訪問時の同行や、検査面談の際の同席による見取りや聞き取り、アセスメント等の見聞から経験を積む。

## ③理解啓発・情報発信の充実（10）

- ・当センターによる教育相談の活用を周知するため、4月当初に178市町村に電話連絡を行う。また、SNS等の活用を図り、情報発信の拡充を図る。
- ・相談案内を園・学校等へ配布
- ・案内リーフレットの内容や文言を見直し、年度当初に各学校や関係機関に送付した。
- ・各種会議及び教員研修の機会に当センターの教育相談についての説明等
- ・本センターでの教育相談事業について、「ホームページに掲載」「研修講座での案内」「校長会等での説明」等を行い、情報発信を行う
- ・就学相談説明動画の作成・公開、学校向けの情報提供のための機関誌発行
- ・電話相談の電話番号をリーフレットやホームページ等で周知している。
- ・大阪市では福祉と教育の連携強化をめざし、教育相談はこども青少年局所管の児童相談所と統合している。学校現場への情報発信を確実にを行うために保護者向け周知文書を配布したり、各学校あてに校長会等への事業説明を行っている。
- ・リーフレットやホームページ等で情報発信を行っていく。
- ・文書やホームページ等による理解啓発・情報発信を行う

## ④関係機関との連携のためのシステム作り（5）

- ・沿岸地区の教育相談資源の少なさをカバーするために沿岸地区相談室を年に8回設定し、センター所員が相談業務を行っている。今後は、地域の教育支援コーディネーターとの連携を更に強めた体制づくりを行いたい。
- ・現在は、相談員が関係機関と不定期に協議を行っている。
- ・特別支援学校における地域支援担当者の会議を実施し、地域の課題を共有したり、県の方向性を示したりし、課題解決に向けた協議等を行っている。
- ・新学齢児の就学相談において各園への理解・啓発及び相談方法等の見直し
- ・学校への巡回相談の件数増加に伴う相談方法や連携システムの見直し
- ・管理職の理解促進やコーディネーターの専門性の向上

## ⑤地域の支援ネットワークの構築（3）

- ・保護者と本人の承諾を得、保護者や本人の現状や願いに沿った支援方法の検討や情報共有を行う。
- ・学校の教育相談体制の中核となる教員を育成したり、市町の教育支援センター指導員への研修を実施したりすることを通して、地域との連携を図っている。
- ・児童生徒理解や事例を通して学ぶ教職員研修や出前講座を行っている。また教員へのコンサルテーションも積極的に行っている。

## ⑥学校等との連携（12）

- ・施設が隣接するメリットを生かし、センターの教育相談の状況と特別支援学校のセンター的機能とを連携させながら継続した支援を実施する。
- ・本人及び保護者、学校、本センター、該当の市町村教育委員会とで、本人の理解や本人への支援内容・方法を検討するためのケース会議を行う。
- ・センターを相談機関として認識していない状況が見られる。市町村教育委員会との連携や県立学校への情報提供を実施し、各学校のニーズに応じた実践的な相談体制を構築する。
- ・教育相談を通して、校内の支援体制を整える学校支援の取組
- ・二次的な相談機関としてのセンターの役割の明確化
- ・特別支援学校のセンター的機能との連携
- ・相談者の意向を整理して学校と情報共有を行い、学校体制で実施可能な取組について検討。
- ・相談者の居住地域によって相談窓口が異なる場合があり、その際は相談窓口の案内を行っているが、それぞれの相談窓口の周知が課題
- ・関係市町村教育委員会担当指導主事との連携を密にすることで、必要に応じて学校に指導助言してもらえるようにする。
- ・相談件数の増加への対応として、一般教育相談の申し込みを原則学校からのみ受け付けることにし、校内支援体制を整えてから、センターにつながるというフローを整理した。
- ・ケース検討会の実施
- ・研修会
- ・就学の手続きについて、園や学校とのさらなる情報共有を進めていく。
- ・管理職研修、オンデマンド研修等、学校の先生方向けの様々な研修で教育センター教育相談室の周知を行っている。
- ・保護者主体の来所予約ではあるが、事前に学校からも情報共有していただけるよう学校に周知している。

## ⑦その他（1）

- ・県内遠方地域における相談方法の工夫（オンライン相談等）

## 4 教育相談担当者の資質向上の取組について

※(1)取組について選択肢から1つ選んで回答し、(2)に具体的な内容を記入

### ①所内研修の実施（33）

- ・外部講師による専門性向上に向けた研修会の実施
- ・新規の教育相談及び困難な教育相談事例について、所内で事例検討会を実施し、相談担当者が安心して教育相談を実施できるようなすとも、資質向上に努めている。
- ・部内における相談ケースに関する事例検討会の実施
- ・ケース検討会議の実施
- ・研修を実施し、教育相談スキルの向上を図る。
- ・事例検討を含めた教育相談に係る研修会を年10回実施。
- ・医師等による研修会や相談会の実施。
- ・スーパーバイザーによる事例検討会やテーマごとの学習会等研修を実施している。
- ・当教育相談部は、主にいじめ・不登校に対応する子ども育成担当と特別支援教育担当があり、合同で行う部内研修を週1回設けている。また、大学教授・医師等を講師として、継続中の事例を検討するケース会議を年間7回行っている。
- ・学習会および事例検討会
- ・月1回の担当者会、月1回のケース会議、日々の情報共有により、支援の方向性・支援方法の検討を行い、専門生の向上を図っている。
- ・事例検討会を実施し、大学教授による指導・助言を受けている。
- ・定期的にケース会議を実施している。
- ・班内でのケース・カンファレンスや勉強会を行い、班員の教育相談に係る力量アップを図っている。
- ・外部講師を招聘しての事例研究会を年10回行っている。
- ・大学教員による研修の実施
- ・教育センター教育相談スタッフ合同研修会、事例研究、搜索訓練、資質向上研修【傾聴演習、ロールプレイ(プレイ、電話相談)、発達に課題を有する子どものかかわり方研修、各種検査研修など】
- ・様々な視点から教育相談担当者研修の内容を考え、企画・実施する。
- ・担当者が事例を提供し、事例検討を行うことで、相談の方向性を協議する。
- ・医師等の専門家による事例検討に関する研修及び相談ケースに関するSVの実施
- ・大学や関係諸機関等の心理や福祉等の専門スタッフと連携し、情報交換・ケース会議・連絡協議会・研修等を行い、担当者の資質向上を図る。
- ・特別支援を専門とする大学教授や精神科医師を講師とする事例検討会を実施している。
- ・年2回教育相談に関わる所員が事例を基に協議や情報交換をする場を設けている。
- ・年間5~6本の係内研修を実施
- ・所内研修会への参加。
- ・本センターに在駐する公認心理士からのスーパーバイズの機会を作る。

- ・毎年、教育相談に関する研修会を実施している
- ・連携大学の先生に月1回ペースでスーパーバイズの実施をお願いしている。
- ・外部講師を招いての研修や、実践研修、ケース検討会議等の実施
- ・所内・部外研修への参加を実施し、ファーストキャリアを支援できるように工夫している。
- ・年間を通した計画的な研修の実施
- ・心理検査結果の分析と支援の方法、保護者との相談内容について、定期的に臨床心理士を講師として研修を行っている。
- ・外部からSVを招き、年間9回のケース検討会を実施した。また、特別支援教育に関わる外部講師による研修を年間2回（少年鑑別所調査官、指導部指導主事）実施した。
- ・相談が本格的に始まる前の年度初めの時期に、相談に活用することができる研修を計画・実施（約10研修）。
- ・指導主事による研修、特別支援教育総合研究所の動画研修を実施している。
- ・定期的にミーティングのための時間を設け、OJTの実施、課題に対する協議などを行っている。センターでの担当者の業務において複数体制をとることによってOJTをはかる。センター主導の研修を実施。
- ・毎月1回～2回、相談室内で研修を行い、相談に係る最新情報を共有することや、ケース検討等を行っている。
- ・札幌市教育センターが教職員向けに行っている専門研修に参加している。

#### ②外部研修への参加（4）

- ・NISEの研修会や心理検査に関する講習会等への所員の参加を促進し、所員研修等で共有することで、教育相談の専門性の維持・向上を図る。
- ・教職員支援機構主催の研修や教育相談に係る学会や各種研修会に参加。
- ・心理検査（WISC-V）の操作・検査方法及びそれを通した教育相談についての研修への参加
- ・教育相談担当者の研修会に参加した。

#### ③相談員同士の情報交換（11）

- ・特別支援担当者だけでなく、小・中・高校籍の生徒指導担当やSSW、校長退職者のアドバイザーがチームで教育相談に当たっている。それぞれの専門的見地から、情報交換や新たな情報の共有などを日常的に行うようにしている。
- ・電話・来所による教育相談時における情報共有
- ・事例検討会等を実施することで、事例に対する分析の仕方や対応方法について情報交換し、専門性の向上を図る。
- ・教育相談の基本姿勢等に関する研修会の実施
- ・月に1回程度、教育相談担当者、特別支援教育係長、相談員による研修会を開き、情報の共有を行っている。
- ・教育相談や学校等訪問での事例を共有し、今後の方向性や対応について検討する機会をつくっている。
- ・年5回のスキルアップ研修において、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに対し、障害種別等で情報交換をする協議、全体共有の場を設けている。
- ・相談内容をデータ化し、どのような相談があったか確認できるようにしている。
- ・教育委員会所属職員を通して、外部相談員同士の共通理解や連携を推進する
- ・増加している就学相談、巡回相談、電話相談等のケース別記録の共有方法
- ・担当者会議を実施し、定期的に情報交換を行っている。

#### ④関係機関との情報交換（3）

- ・就学相談については、市町教育委員会の就学担当者との情報交換や事例検討を通して、保護者により適切な助言ができるよう学び合っている。
- ・各関係機関が企画する研修会を共有し、目的に応じて参加。また、定期的に事例検討会を行い、各専門家からの協議・助言をいただく。
- ・就学相談において、情報交換を密に行っている。

#### ⑤その他（2）

- ・定期的に教育相談担当者向けの研修講座や連絡会議を開催している。
- ・特別支援学校の教員を対象とした研修を実施するとともに、センター職員についても外部研修に参加する等、専門性の向上に努めている。

## 協議テーマ「関係機関と連携した相談・学校支援の充実」に関する工夫や取組

- ・教育相談後の継続的な支援や校内支援充実に繋げるため、保護者や複数名の学校関係者（学級担任、特別支援教育コーディネーター等）の参加による遠隔教育相談を行い、相談結果の共通理解を図る。
- ・電話相談や来所相談の内容で医療機関の意見も踏まえたい際に、特別支援教育課として連携している医療機関（医師）に相談している（電話、メール等）。一週間以内に返答いただき、相談に役立っている。
- ・相談内容に応じて、大学機関の職員と連携し、相談事例について検討会を実施している。
- ・医療機関と連携し、ケース会議を開催している。教育、医療の両面からのアセスメントや支援方法を協議、共有して学校支援に生かしている。
- ・教育相談研修会を6回／年実施している。医療、福祉、教育の関係者が集まって、事例検討会や学習会を実施している。
- ・本センターで抱えている困難な教育相談事例について、総合療育センター及び発達障がい者支援センターの医師や心理士等を交えて事例検討会を行い、支援の方策を検討し、相談・学校支援につなげている。
- ・相談者の状況により、受診対応を検討・調整していただけるよう医療機関にお願いしている。
- ・必要に応じた情報の共有
- ・教職員のための相談窓口の設置
- ・同じ建物内に「千葉県子どもと親のサポートセンター」があり、連携を図りながら取り組むことができている。
- ・毎年、教育相談機関連絡会議を開催し、顔の見える関係づくりをするとともに、研修・情報交換の場としている。
- ・高等学校と地域の特別支援学校の連携について情報提供
- ・センターの研究主事が県内の各市町村教育委員会が主催して行う相談会（合計123回）に相談員として参加している。支援がつながるよう、相談内容は各教育委員会等と共有し、了承を得て在籍校（園）にも伝える。
- ・特別支援学校の専門相談員の連絡協議会に参加し、事例検討や協議を通して、障害のある児童生徒の理解とその支援について学んでいる。
- ・管理職や特別支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制づくりへのサポート
- ・相互に「風通しのよい」関係づくり目指している。まずは各機関の専門性を理解し、遠慮せずに事例検討を中心に積極的に情報交換を行う。
- ・研修講座「連携・危機対応」～関係機関との連携のあり方を学ぶ～を開設し、現場の先生方のニーズを汲みながら課題への対応について学ぶ機会を設けている。
- ・関係諸機関との連絡会議を通して情報共有や事例検討し、他機関とのネットワークづくりをする。
- ・個人情報に留意しながら、相談内容によって学校や専門機関との連携を図り、児童生徒を取り巻く環境の改善に努めている。
- ・来所相談を行っているケースについて、電話連絡により学校と情報共有をしたり、訪問により学校における支援体制づくりのサポートをしたりしている。
- ・各市町の教育支援センター指導員の力量アップ研修を実施し、地域の相談体制の充実に取り組んでいる。
- ・保護者、本人からの相談は、内容によって、保護者、本人の了解を得た上で、相談員が所属学校の管理職、市町教育委員会等と情報共有を行い、支援内容や個別の教育支援計画、個別の指導計画等の確認、検討を行っている。
- ・相談者のニーズや守秘について十分話し合った上で、必要な情報を共有し、相談者自身が主体的に課題や問題にかかわろうとする力を後押しする学校には原因を追及するよりも相談者が何に困ってどうしたいのかを考えるという視点で協議している。
- ・学校園の依頼に応じて、医学、心理、教育の各分野において、LD、ADHD等に関する専門的知識を有する医学関係者、心理関係者、教育関係者により構成する「ひょうご専門家チーム」派遣の実施
- ・教育相談や学校等支援のケースを市町村教育委員会と共有し、学校や市町村の実情や意向等を踏まえながら支援に取り組んでいる。
- ・子ども安全支援室（教育指導課）と連携し、視察の同行、電話相談等での情報共有
- ・所属校や市町村教育委員会等とのケース会議やコンサルテーションの実施
- ・精神科の専門医にケースについての指導助言をいただき、相談員の専門性の向上を図る。
- ・園や学校に向き、子どもの様子を見たり、担任等から話を聞いたりした上で、ケース会に参加する。
- ・関係機関とお互いの受け入れ可能な相談内容等について情報を共有している。
- ・必要に応じて教育委員会への情報提供
- ・初回相談時、相談者に相談内容等、個人情報の管理について説明。
- ・要望や承諾があれば、学校等の関係機関との情報共有等を実施している。
- ・大学や関係諸機関等と連携し、情報交換・ケース会議・連絡協議会・研修等を行うことで、担当者の教育相談における資質向上を図るとともに、学校支援の充実に取り組んでいる。
- ・発達障害者支援センターによる研修の実施。
- ・相談者のニーズに沿う関係機関の紹介。
- ・必要に応じて関係機関に連絡を取り、情報共有に努めている。  
特別支援学校の教員を対象とした、教育相談に関する研修について、特別支援教育課と情報共有を行いながら、内容の検討を行っている。
- ・相談者からの希望に応じた学校連携
- ・相談を担当した所員のみで対応するのではなく、特別支援教育研修班で検討会を開き、対応を検討するようにしている。
- ・なし（本センターでは、教育相談業務を行っていないため）
- ・こども総合療育センター、県教委特別支援教育課と三者合同の連携協議会を実施している。
- ・発達障害支援センターとの定期的な情報交換会を行っている。
- ・学校支援を充実させるため、学校の困り感を事前に提供してもらう「情報提供シート」の作成を依頼し、相談業務に活用している。
- ・川崎市内の4療育センターや他局（子ども発達・相談センター等）とも連携して相談をすすめている。
- ・学校支援としては特別支援学校のセンター的機能を計画巡回と要請派遣に分けて取り組んでいる。
- ・現在関係機関の相談同席が増えていること。また、事前に関係機関と日程を調整したうえで相談を実施している（児童相談所・区役所等）
- ・学校園から要請があれば、困り感を抱える子どもへの支援や保護者への関わり方、支援に向けた校内体制等について、関係する教職員と指導主事が一緒に考える「学校コンサルテーション」を行っている。
- ・センター的機能の役割を担う京都市の各特別支援学校の部署の部長が定期的に集まり情報共有をする機会を設けている。
- ・児童相談部門と統合された強みとして、障がいがある子どもの学校内での学習および生活の支援だけでなく、学校外の福祉サービスと繋がりがやすくなっている。また、家庭内への介入が必要なケースにおいても当該担当窓口と役割分担をしながら対応ができている。
- ・つなぎ方がわからない学校がある時は、ケース会議等に参加する際、関係機関との連携を推奨する。
- ・本課では発達支援グループや外国児支援グループなど各5グループがそれぞれのジャンルの担当として相談業務や学校支援等を行っている。  
発達支援グループでは特別支援学校や大学などの教育機関、医療機関、相談機関等との連携を密に図り、巡回相談や専門家チーム会議などを学校に対して実施している。
- ・地区コーディネーター、エリアコーディネーターを新規に導入し増加する相談に対応できるようにした
- ・就学相談において、県立の特別支援学校と連携を密にしている。
- ・関係機関と定期的に情報交換会を開催し、教育と福祉の連携を図っている。

- ・ 就学相談や教育相談における個々への対応だけではなく、その子供たちが在籍する学級全体、あるいは学校全体を参観し、特別支援教育に関する研修を行ってほしいという依頼が増えてきている。神戸市の特別支援教育推進のための学校訪問システムを構築中である。
- ・ 関係機関との連携については、相談担当者が相談者に他機関に関する適切な情報提供をできるように、最新の情報を適宜更新したものを研修等で周知している。また、学校支援の充実に関しては、教育相談後は学校と情報を共有することを保護者と確認の上、学校へ適切な支援方法を提案するようにしている。さらに、教育相談件数、就学相談件数が右肩上がりに増加傾向なので、来所相談にすぐにつなげることや早い再来所ができるように、相談体制を拡充し、子どもの課題解決の状況把握と、適切な支援方法の確認、更なる提案を行うようにしている。

第 2 分科会

研 修

## 第2分科会 研修に関する事情聴取の集約結果

### 主題 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

#### 1 特別支援教育に関する研修について、工夫していることと課題について

※選択肢から選んで回答(3つまで複数選択可、未実施の内容については無回答)

##### (1) 工夫していること

	回答数
①演習と協議を実施	54
②授業参観や実践発表実施	19
③事例検討会の実施・工夫	16
④コースやテーマの分化	12
⑤該当職務の新任者の研修実施	31
⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施	16
⑦地域・地区別の研修実施	4
⑧校種別の研修実施	11
⑨異校種間の実践交流	3
⑩現状の把握と課題の焦点化	2
その他	6
計	174

※その他:ハイフレックス研修の充実、研修パッケージの導入、キャリアステージに応じた研修、障がい種別の研修実施、管理職向けの研修の実施、アウトプット中心の研修

##### (2) 課題

	回答数
①ニーズに応じた講義・演習内容の設定	32
②受講対象者の力量差	28
③研修者のニーズに合った研修体系	17
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施	13
⑤幼稚園、高校対象の研修実施	11
⑥受講者増加に伴う効率的運営	17
⑦研修内容について地教委等との調整・連携	6
⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価	25
⑨指導者・講師の確保	15
その他	3
計	167

※その他:教職員自身の主体的・対話的で深い学びを実現する研修、広域な地域特性に応じた予算の効率化と専門性の向上、研修時間の確保

#### 2 R5年度以降に新設した特別支援教育にかかわる研修講座について

※(1)講座名について入力し、(2)内容と(3)実施方法については選択肢から選んで回答(未実施の内容については無回答)

##### (1) 講座名

- ・ 授業づくりレベルアップ研修講座
- ・ 特別支援学校授業力アップ講座
- ・ 通級指導教室新担当者研修講座
- ・ 通常の学級における特別支援教育研修講座
- ・ 新任早期教育相談担当者研修
- ・ 誰もが学びやすい小・中・高等学校を目指す研修講座
- ・ アセスメント研修①発達障害のある子の検査結果(WISC-IV)を踏まえた支援、事例から実践に生かす(初級)
- ・ 特別支援教育【I】(手話の理解と視覚障害児・者の支援)
- ・ 【基礎講座】特別支援学校の授業づくり研修講座
- ・ 発達障害の理解と対応講座
- ・ 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり講座
- ・ はじめての特別支援教育シリーズ
- ・ 特別支援学校コーディネーター等資質向上研修【臨床研修C】
- ・ 通常の学級で学びにくさの壁を壊そう!~UDLの視点を生かして~
- ・ 多様なニーズに応じた特別支援教育オンデマンド研修
- ・ 困難さを抱える子どものケース会議の進め方
- ・ 特別支援学校におけるセンターの機能強化講座(ベーシック)
- ・ 三重県の特別支援教育について
- ・ 特別支援教育課題別研修(児童生徒の実態把握)
- ・ 児童生徒の学びを支える自立活動講座~的確な実態把握、児童生徒の困難さの背景を読み取る視点を研く~
- ・ インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎理解講座
- ・ 障害のある子どもの授業の在り方研修講座
- ・ 発達障害・情緒障害の理解と担当者等の専門性向上・連携推進研修講座
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修
- ・ 専門性を高める特別支援教育(重度・重複障害)研修講座
- ・ 放課後ミニ研修
- ・ 特別支援教育専門的指導力向上コース
- ・ 通級指導教室に通う児童生徒の理解と支援講座
- ・ 特別支援教育研修II(特別支援学校初任者対象)
- ・ 通常学級のユニバーサルデザイン研修
- ・ 教育課題研修「小学校教諭等特別支援教育採用者研修」
- ・ 経験者のための特別支援教育専門講座(特別支援教育経験10年以上対象)
- ・ (Web)自立活動の基礎と教材・教具B
- ・ 心理検査法・WISC-V(基礎)
- ・ 特別支援学級主任研修
- ・ 特別支援教育教室参観講座
- ・ 障害のある児童生徒への人権意識について
- ・ 通級指導担当者研修
- ・ 特別支援教育研修(旧3年次異校種・社会体験研修を変更)
- ・ 全教員を対象とした特別支援教育に関する悉皆研修
- ・ 管理職(校長・教頭)特別支援教育研修

- ・LD研修アセスメント
- ・校内研修講師派遣研修
- ・関係機関等連携研修
- ・特別支援学校POWERUPセミナー
- ・特別支援教育の専門性を高めるための研修講座
- ・視野が広がる!特別支援教育研修講座
- ・特別支援教育【I】(インクルーシブ教育の推進)
- ・子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座
- ・学校で取り組む特別支援教育研修会～特別支援教育を担う教員の専門性の向上に向けて～
- ・特別支援教育に生かすICT活用～ICT活用で「できた」を支えよう～
- ・集まれ!言語通級指導教室集合研修
- ・自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法
- ・特別支援学校におけるセンター的機能強化講座(アドバンス)
- ・特別支援教育基礎講座 -二次障害-
- ・高校卒業後につながる発達障害のある児童生徒の支援の在り方講座～各ライフステージを見据えた教育的支援とは～
- ・特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座
- ・ちょっと学びタイム(通級による指導)研修講座
- ・知的障害特別支援学級担任研修
- ・知的障がい教育におけるキャリア教育研修
- ・選択研修「インクルーシブ時代の管理職のリーダーシップ」
- ・特別支援学級キープラーニング研修
- ・自立活動基礎シリーズ①～⑧(内容:①②)
- ・インクルーシブ教育研修
- ・授業UD・学びのUDLを取り入れた授業づくり
- ・通級による指導
- ・実習助手コース
- ・特別支援教育【I】(高等学校等における特別支援教育の充実)
- ・重複障がい学級の指導
- ・知的障害のある子どもの国語の単元づくり
- ・特別支援教育基礎講座 -性教育-
- ・特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座
- ・ちょっと学びタイム(特別支援教育コーディネーター)研修講座
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級担任研修
- ・教育課題研修「中級特別支援教育コーディネーター養成研修」
- ・特別支援教育実践講座(基本編・実践紹介編)
- ・ICTを活用した読み書きが苦手な子への指導

## (2) 内容

	回答数
①特別支援学校対象の専門的研修	12
②特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	11
③特別支援教育全般の専門研修	18
④特別支援教育の今日的課題	8
⑤心理検査の実施と解釈	2
⑥通常の学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	8
⑦幼稚園や高等学校に特化した研修講座	1
⑧その他	16
計	76

### ※その他の内容

- ・通級指導教室新担当者を対象とした専門的研修
- ・小・中・高等学校に特化した研修講座
- ・手話言語条例に基づく研修
- ・NITSやNISEを活用した基礎講座
- ・特別支援学校コーディネーター主任対象のセンター的機能についての実践
- ・ICTの活用
- ・通級による指導担当者対象の研修講座
- ・通級による指導
- ・特別支援学級での実地研修
- ・小学校教諭等特別支援採用者対象の専門研修
- ・通級指導担当者対象の専門研修
- ・通常の学級における特別支援教育の充実
- ・特別支援教育コーディネーター対象の研修講座
- ・特別支援教育コーディネーター対象の専門研修
- ・発達障がいの理解と指導法に関する研修
- ・通級による指導の専門研修

## (3) 実施方法

	回答数
①集合による研修	33
②オンライン会議システムでの同時双方向型	13
③同時双方向とオンデマンドの組み合わせ	2
④動画配信サービスを活用したオンデマンド	11
⑤その他	18
計	77

### ※その他の方法

- ・ハイフレックス研修
- ・集合による研修と受講者所属校における授業参観・協議の組合せ
- ・コマの内容により、実施方法を変更
- ・事前課題を含めた集合研修
- ・オンライン(ライブ)と集合型の複合
- ・参集によるスーパーバイズ
- ・半日2回で、第1回はオンライン会議システムでの同時双方向型、第2回は集合による研修
- ・全2回の研修を①と②で実施
- ・自作研修動画によるオンデマンド
- ・小・中学校での研修
- ・集合とオンラインのハイブリット
- ・オンデマンドと集合の組み合わせ
- ・通常の学級の教員が特別支援学級を体験
- ・校内研修講師派遣型

3 オンラインを活用した特別支援教育に関する研修について  
※選択肢から選んで回答(未実施の内容については無回答)

(1)実施方法

- ①オンライン会議システムでの同時双方向型 (53)                      ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ (19)  
③動画配信サービスを活用したオンデマンド (41)                      ④その他 (7)

※その他の実施方法

- ・ハイフレックス研修                      ・オンデマンドと集合による研修の組合せ                      ・動画配信サービスを活用したライブ配信  
・オンデマンド、オンライン、集合型の複合型                      ・集合研修と同時双方向型のハイブリッド

(2)(上記で挙げたオンライン研修)実施内容(複数回答可)

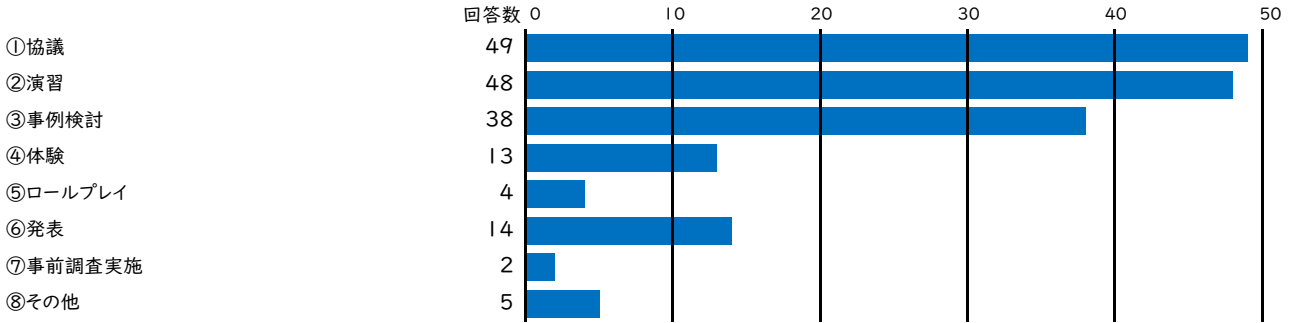
- ①講義・講演 (116)                      ②協議 (52)                      ③演習 (42)                      ④事例検討 (9)  
⑤体験 (1)                      ⑥ロールプレイ (2)                      ⑦発表 (21)                      ⑧事前調査を実施 (0)  
⑨その他 (0)

#### 4 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援について

※選択肢から選んで回答(未実施の内容については無回答)

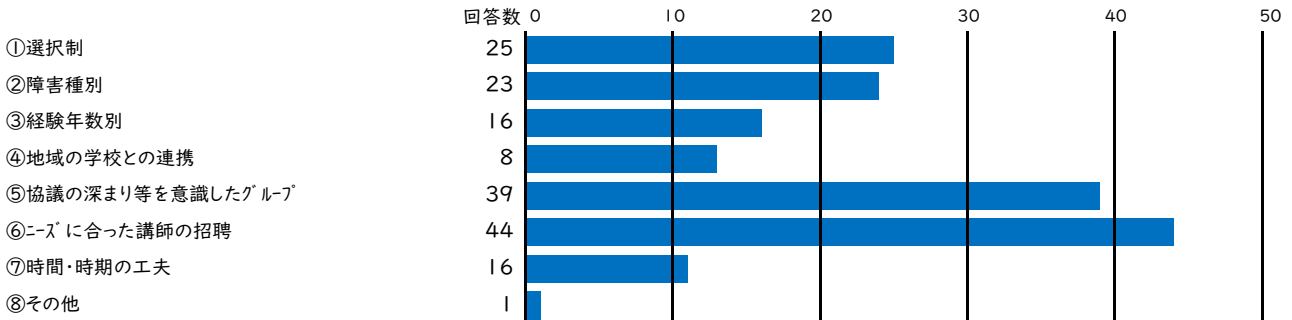
(1) 研修の効果的な在り方(講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項3つ選択)

##### 【研修形態の工夫】



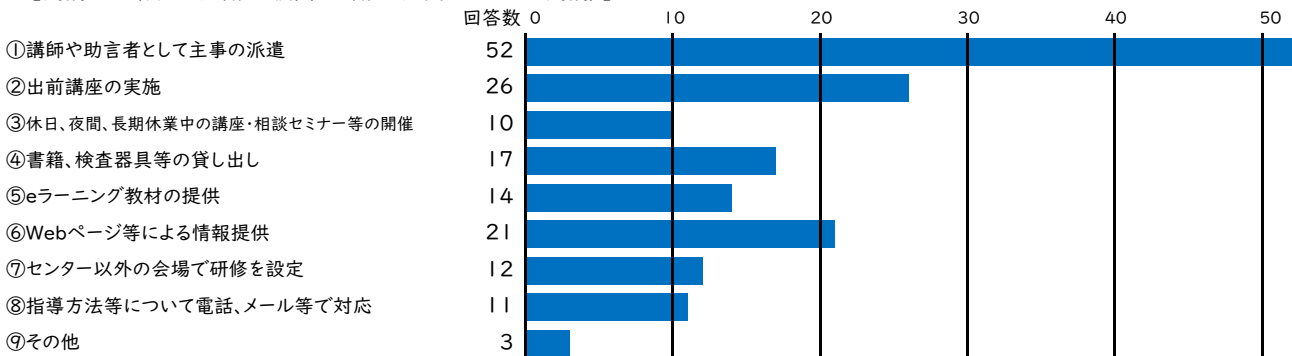
※その他:探求のプロセスを重視した受講者が主体的に学ぶ研修、アウトリーチ型の研修、講義動画視聴と確認シートの記入、オンデマンド教材の充実、

##### 【研修実施の工夫】



※その他:ICTやクラウドの活用による対話的な学び

##### 【支援方法(自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援)】

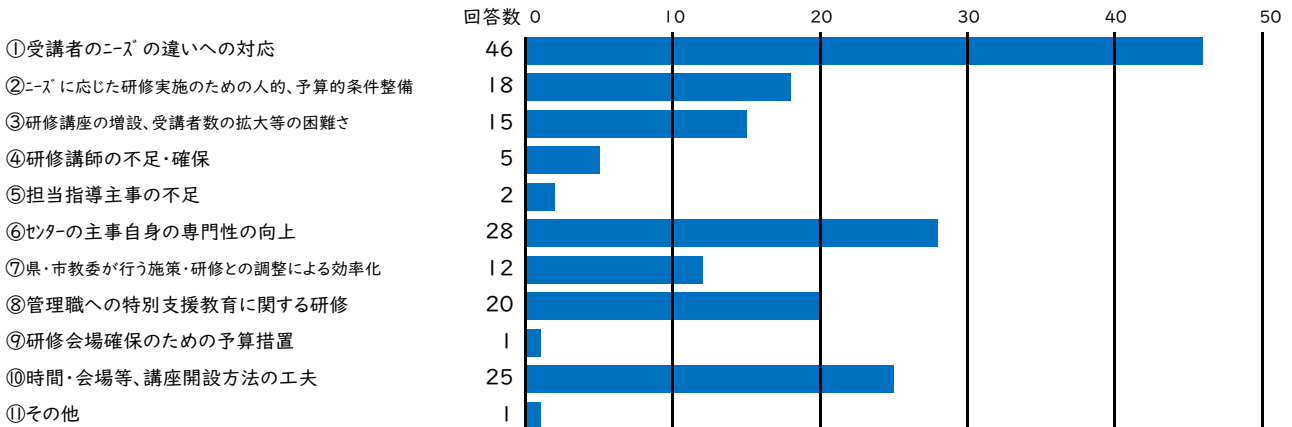


※その他:年間を通じた校内研究への助言、オンデマンド動画の提供、オンデマンド教材の配信

#### 5 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての大切にしている視点について

(1) 大切にしている視点

※選択肢から選んで回答(考えられる主なものを3つ選択)



※その他:関連のオンデマンド研修の充実

## 【大切にしている視点の具体的な内容】

### ①受講者のニーズの違いへの対応

- ・ 習熟度や受講者の課題に応じたコース設定
- ・ 申込みフォームの工夫、事前レポートの提出
- ・ 学校種別、障がい種別の講義や特別支援教育の課題に係る内容の講義の設定
- ・ 講座デザインシートを作成し、校種や経験に応じて、身につけるべき資質・能力や研修内容を明確にして、実施している。
- ・ リフレクションアンケートの実施、研修終了後の追跡調査の実施（予定）
- ・ 受講者から得た振り返りを次年度に反映
- ・ 「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」を基に、研修の実施
- ・ 研修後アンケートを参考にし、受講者のニーズを把握する。
- ・ 事前アンケートを実施し、受講者の知りたい情報を予め講師と共有する。
- ・ 校種や学びの場によるニーズの違いに応じ、各課題を検討して研修を企画・運営
- ・ 研修動画コンテンツの整備。研修途中でもすぐに質問できるようチャットの利用
- ・ 経験年数に応じて、講座を選択できるようにしている。
- ・ アンケートによるニーズの把握
- ・ ニーズを把握し、研修の推進を行っている。
- ・ 事後アンケート結果等から受講者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
- ・ 多くの校種、研修員の経験年数等異なるため、講師と相談し、必要に応じて事前にアンケートを実施している。
- ・ 様々なニーズ合うように選択研修講座を構築する。
- ・ 特別支援教育に関する理解推進、適切な支援のあり方、実践等
- ・ 多様な参加者をイメージしながら、講座内容の設定
- ・ インクルーシブ教育システムの推進に対応した研修の実施
- ・ 経験年数が浅い教員に配慮したグループ編成や実践交流の機会の確保等
- ・ 研修後の振り返りフォーム等を活用した受講者のニーズの把握
- ・ 受講者が研修内容を選択して受講できるようにしている。
- ・ 研修全体のねらいの確認に加え、そこから個々の問いを立てる時間を設ける。
- ・ 研修終了後の受講者へのアンケート結果を基にして、次年度の研修や講座の作成に生かしている。また、専門講座を習熟度別（基礎・発展・充実）に分け、受講者のニーズに合わせて受講対象を絞って開催している。
- ・ 事前及び事後アンケートによりニーズや成果、課題を把握
- ・ 経験年数、障害種別、校種、職務の違い等への対応
- ・ 事前に受講者からのニーズを把握している。
- ・ 研修アンケート等で受講者のニーズを把握する。
- ・ 前年度のアンケートを基にニーズ等を把握した上で、協議時における受講者の役職や校種等を配慮しグループを編成する。
- ・ 受講者の特別支援教育に携わる時間の長短に関係なく、すべての受講者のニーズに沿えるような研修内容を設定する。
- ・ 受講者のニーズや理解度、受講者の背景等をできる限り把握する。
- ・ 年数、学級種別等による分科会の設置
- ・ 受講者ニーズごとの講義、演習、協議、実践発表の組み合わせ方
- ・ 経験年次別研修、期限付き教諭等の研修機会の確保
- ・ 経験年数の違い、特に経験0年の職員対象の研修の充実
- ・ 育成やキャリアに応じた研修の設定
- ・ 事後アンケートの結果を生かして、次年度の研修を改善する。
- ・ 障害種別による選択研修を取り入れている。
- ・ 障がい種別や経験別等の研修を実施している。
- ・ 受講者が求めていることにどれだけ応えられるか。どうバランスを整えていくか。
- ・ 受講者の経験に応じること。特に新任職員は指名研修としたこと。
- ・ 受講者の指導経験や対象児童生徒により、課題意識が異なるため、選択研修を含め広くニーズをとらえるようにしている。
- ・ 研修対象者を経験年数や希望、選択制にするなどしている。
- ・ テーマのカテゴリーと自身のステージの相関を調べることができる研修体系

## ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備

- ・ 外部講師への依頼
- ・ 有益な研修実施のために講師の招聘のための条件整備を実施
- ・ ニーズに応じた研修が実施できるよう次年度予算を確保している。
- ・ 外部講師招聘
- ・ 受講者のニーズを把握し、次年度へ向けた講師への依頼、費用弁償の確保
- ・ テーマ選択性にする、年間を通した連続講座とするなどの運用の工夫
- ・ 実践発表形式の研修が多いため、事前に研修講師との打合せを入念に行う。
- ・ 集合型とオンラインなど、人的、予算的条件に合った研修形態の検討
- ・ 特別支援教育担当者の増加に対応した資質向上を図る研修の実施及び情報発信
- ・ 先進的取組や今後の方針について講師を招聘したいが予算的に困難
- ・ Zoomを活用した県外講師による研修講座
- ・ 地域性やニーズに応じた研修を実施するため、オンライン、集合に応じ、人的、予算等の確保を行っている。
- ・ 市町教育委員会や教育事務所等と現場のニーズについての情報共有を図り、研修内容の検討等を行う。
- ・ ニーズ把握の為のアンケートを、毎回オンラインで実施
- ・ 学校種・学級種、障害等に応じた研修
- ・ 新規者向け研修では先輩教員をグループリーダーとし、協議や実践交流を行っている。
- ・ 旅費措置とならない場合の自校旅費等での研修の受け入れ

## ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ

- ・ オンライン研修の実施
- ・ 研修講座をPRするためのリーフレットの作成
- ・ ニーズに応じて人数を増やしたい講座がある。会場との兼ね合いを検討している。
- ・ 研修の定員について前年度の申込状況を参考に設定している。
- ・ 島根県の特別支援教育に関する課題を基に来年度から研修をリニューアルする。
- ・ ニーズの高まりはあるが、研修によっては受け入れ人数に限界がある。
- ・ 前年度の受講希望者数等を基に、定員を増員したり集合やオンデマンドの研修形態を工夫したりする。
- ・ ニーズに応じた研修講座が不足している現状や業務削減が求められる中での、研修講座の充実や内容の精選
- ・ オンデマンド研修の充実
- ・ 受講要望人数に応じた研修場所確保のためのセンター内での調整とオンデマンド実施
- ・ 基本事項をオンデマンド化し、事前課題として設定
- ・ ブレイクアウトルームを活用し、研修者同士の情報共有や交流の場を設定
- ・ 研修予算の削減のため、センター執務日の心理士やDr.に講師依頼をしている。
- ・ 集合研修とリモート研修を組み合わせた研修形態の工夫を行う。
- ・ 希望者が多く抽選になる研修は、希望者が全員受講できるように受入体制を強化する。

## ④研修講師の不足・確保

- ・ 県内の各研究部会との連携
- ・ どの校種の教員にも特別支援教育について学ぶ機会を確保している。
- ・ 受講者のニーズに応じた講師の選定
- ・ 研修講座にふさわしい人材を探し、確保をしている。日程調整が困難である。
- ・ 幅広い情報収集

## ⑤担当指導主事の不足

- ・ センター指導主事は相談業務で負われてしまうため、スケジュールリングを共有
- ・ オンデマンドやオンラインの活用、教員による校内研修実施に使える資料の提供

## ⑥センターの主事自身の専門性の向上

- ・ センター内での他校種の講座受講、他機関の研修受講
- ・ 様々な研修会等に参加し、知見を深める。
- ・ 研修への積極的な参加と伝講、担当内における情報交換

- ・ 全ての研修講座の検討会を実施し、研修内容の専門性向上を図っている。
- ・ 所員研修の実施、外部機関の発表会やオンライン研修への参加
- ・ 特別支援教育に係る講座の聴講推奨、講義担当の振り分けの工夫
- ・ 各指導主事の専門性をいかした担当割り振りと専門性の向上のための自身の学び
- ・ 自主的に研修会等に参加し、研鑽を積む。
- ・ 専門主事の研修 (NITS、NISE)
- ・ 自ら学び続ける教職員を目指し、自ら研修機会を設けていく。
- ・ 専門機関との連携、研修機会の確保
- ・ 特別支援教育に関する最新の情報から学ぶこと、研修効果向上を目指した研修内容等
- ・ セミナーや学習会への参加
- ・ 研修の充実に向けた指導主事同士の協議の実施
- ・ 研修等への参加及び積極的な情報収集
- ・ 情報収集、研修会への参加。
- ・ 研修講座の計画や講義等の内容について所内で検討、協議
- ・ ポジティブ行動支援等、県の施策についての専門性を高めている。
- ・ 研修会に参加したり、書籍を読んだりするなど自己研修に取り組んでいる。
- ・ 研修への参加や書籍等での自己研鑽を積む
- ・ 研修等への参加
- ・ 研修を担当する指導主事も講師による講演の内容を深く理解するようにしている。
- ・ 書籍や他課との連携を通して、見識を広めている。
- ・ 部内研修等を通じた研さん
- ・ 各関係機関企画の研修会への参加。毎週の事例検討会の実施。
- ・ 書籍による自己研修及びオンライン研修等の積極的な受講
- ・ 自分の経験していない領域での指導や、コンサルテーションの技術について。
- ・ 県外への視察や研修会等に参加し専門性向上に努めている。

#### ⑦ 県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化

- ・ 綿密な情報交換
- ・ 研修内容が重複していないかを確認し、精選する。
- ・ 教員の経験年数、課題に応じた研修会の企画について前年度中に共有・調整
- ・ 担当主事会による情報交換
- ・ 県内における特別支援に関する課題を把握し、研修内容を充実させる。
- ・ 県、市教委との連携及び調整による研修の効率化
- ・ 県特別支援教育課、教育事務所等と定期的に情報交換会を開催している。
- ・ 特別支援教育推進室(県教委)との連携、情報共有
- ・ 県の方針をうけて研修内容の工夫
- ・ 市教委の特別支援教育事業と合わせた研修講座を準備している。
- ・ 県立特別支援学校との情報交換
- ・ 研修内で、本市の施策に係る内容について理解を深めるような場面を設けている。

#### ⑧ 管理職への特別支援教育に関する研修

- ・ 初任の管理職へ特別支援教育の視点を学校経営に活かす講座内容に設定
- ・ 特別支援教育実施の責任者として特別支援教育に関する認識を深める。
- ・ 児童・生徒観の転換、校内支援体制の充実等を目的とした協議、演習の工夫
- ・ 内容、講師、他課との連携
- ・ 全ての校長・教頭が学校運営の視点に特別支援教育の考え方をもちこ
- ・ 全ての管理職研修において、特別支援教育に関する講義を位置付ける。
- ・ 特別支援教育に係る県内の状況や校内支援体制の構築に関する講義の設定
- ・ 新任教頭研修での講座
- ・ 新任の管理職研修全てに特別支援教育に関する研修を実施
- ・ R5年度から、希望研修に管理職向けの講義を設定している。

- ・ 管理職の理解を基にした特別支援教育の充実、推進を図る
- ・ インクルーシブ教育システムの理念を周知するため、国や県の動向等を伝え、自校のことを考えるようにしている。
- ・ 管理職対象のリーダー研修において、特別支援教育の講座を必ず設けている。
- ・ 公開授業訪問時に管理職同席のもと研究協議を実施し、管理職への理解を図る。
- ・ 県立学校新任教頭及び新任事務長向け研修の実施
- ・ 管理職向け研修の実施, 管理職向けハンドブックの活用
- ・ 学校運営の視点を大切に特別支援教育にかかる研修
- ・ 特別支援教育に対する理解の推進を図り、組織で支えていく学校体制づくり
- ・ 主催の研修は出来ていないが、校長会や他の研修会で就学相談や教育相談について周知に努めている。
- ・ 当センターの管理職向けの研修に特別支援教育に関する内容を盛り込んでいる。

#### ⑨研修会場確保のための予算措置

- ・ 県の施策、推進計画、方針に対応した研修の実施

#### ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫

- ・ オンライン研修における小グループの協議等
- ・ 研修パッケージの導入による受講成果の自校や地域への還元
- ・ 受講しやすい時期、研修時間、研修方法で講座を構築する。
- ・ 研修の設定時期や方法はできるだけ現場の教員の負担にならないように配慮する。
- ・ 指導主事が学校を訪問して実施するアウトリーチ型研修の実施
- ・ 3年ごとに講座全体の体系・内容・運営方法の見直しを行い、研修ニーズに応じた研修の構築を行っている。
- ・ オンライン研修と集合型研修の併用
- ・ 勤務地等を配慮し、研修しやすいようにオンラインやオンデマンドでの研修を設けている。
- ・ 受講者の移動時間に配慮した会場設定
- ・ 同内容の複数展開を含めた適切な研修日程と研修会場の検討
- ・ 研修動画視聴、オンラインによる講義、集合型での協議等の方法の工夫
- ・ 遠方の教員も受講しやすいよう、ライブ配信型の研修を取り入れる。
- ・ ニーズに合った日程調整や地域で受けられる研修会場、オンラインの併用を続ける。
- ・ 校内研修活用できる時間帯15:30～開始の講座設定等、より参加しやすい工夫。
- ・ 受講者のニーズや必要な専門性等の習得に応じて、時間や会場、講義形式を設定
- ・ 放課後の短い時間を利用したり遠隔で実施したりするなど参加しやすくしている。
- ・ 専門研修を夏季休業中にできるだけ開催
- ・ 事前動画視聴を行い、半日の集合研修にするなどの対応をしている。
- ・ 担当指導主事の各業務を踏まえ、開設時期を調整したり、研修会を一部合同にする等、運営方法を工夫したりする。
- ・ 受講者にとって、負担の少ない時間帯や講座形態、方法の在り方
- ・ インターバル研修や地域別研修の実施
- ・ 受講要望人数に応じた研修場所確保のためのセンター内での調整とオンデマンド実施
- ・ ハイフレックスや夜間(トワイライト)の実施
- ・ オンライン、オンデマンド
- ・ 集合研修、オンライン研修、オンデマンド研修の3つの実施形態を活用

#### ⑪その他

- ・ 研修内容に合わせた事前学習をオンデマンド教材で配信する。

## 6 ホームページの活用と公開コンテンツについて

※選択肢から選んで記入

(1) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

①ある	55	未回答	3
②作成中	0		
③検討中	1		
④作成予定なし	4		

(2) 公開している(公開予定の)「特別支援教育に関する研修コンテンツ」(複数回答可)

①ガイドブック等の冊子	50
②プレゼンテーション資料	17
③講義の動画	31
④デジタル教材(ダウンロード可)	11
⑤教材・教具のデータベース	19
⑥学習指導案のデータベース	21
⑦その他	6

※その他: チェックリスト、個別の教育支援計画の様式等、指導・支援の手立て集、授業動画の限定公開

## 7 協議テーマ「個々のステージに応じた研修の在り方」に関する工夫や取組

- ・教職経験に応じた研修を設定し、対象を明確にして募集するとともに、エントリー層を対象とした研修は年度初めに実施し、必要に応じてフォローアップを行っている。
- ・研修講座では、教員の資質の向上に関する指標について必ず説明している。
- ・主に法定研修では、教員の資質の向上に関する指標に基づいて研修内容を構成している。
- ・特別支援教育担当新任研修とそれに続くステップアップ研修Ⅱ・Ⅲの実施。通級による指導担当教員養成研修(3か月研修)の実施
- ・講座の初めに、学びたいことや自身の課題などについて話し合う場を設けてから講座をスタートさせることで、自分ごとの研修となるようにしている。
- ・基本研修(初任者研修、2年次教員フォローアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修)においては、資質向上に関する指標に基づき研修を企画し、受講者の経験年数を踏まえた内容を検討して実施している。受講者が、自己の教育実践を振り返り、実践的な指導力の深化を図れるよう協議を重視している。
- ・ニーズに応じた研修実施のため、受講者が選択できるような内容を設定している。
- ・特別支援教育の経験年数に応じた研修内容の設定
- ・経験者研修における選択型講義
- ・「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」を基に、6つのステージに応じた、研修を計画・運営している。
- ・実施要項に「千葉県・千葉市教員等育成指標」の主な柱を掲載し、各自が確認できるようにしている。
- ・推薦研修を設定し、各学校から1名必ず参加し校内で周知するようにしている。
- ・発達検査法では、初級から上級までの段階に応じた研修を実施している。
- ・教員の経験年数等による応じた研修段階を設定している。
- ・「子供の教育的ニーズの応じた特別支援教育講座」は、小・中学校編、高等学校編、特別支援学校編の3講座とし、NITSやNISE学びラボなどから基礎的内容講座を設定している。オンデマンドにすることにより、都合の良い時間に基礎的内容を繰り返し視聴することができ、好評である。今後もオンデマンドによる基礎講座を継続していく。
- ・特別支援学級等新任担当教員研修会では、先輩教員による授業参観、担当する障害種の特別支援学校の施設見学、勤務校に訪問しての授業研究等幅広い内容や方法で行っている。
- ・管理職や特別支援教育コーディネーターを対象とし、支援体制作りに関する研修を行っている。
- ・通級指導教室担当者研修、特別支援学級担当者研修では、経験年数を目安とした習熟度別の研修を選択できるようにしている。
- ・特別支援教育コーディネーターの養成研修(1年目対象)と専門研修(中堅)の実施
- ・特別支援学校コーディネーターが各地域で必要な研修講師についても対応できるようにするため、特別支援学校コーディネーターの経験年数等に応じた研修を企画・運営している。
- ・「基礎・基本を学ぶ講座」「専門性の向上を目指す講座」「特性を理解し、支援につなげる講座」「授業づくりを学ぶ講座」の4つの柱で研修講座を構築している。
- ・岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標に基づき、教職員自らキャリアアップを図る研修の充実を目指している。
- ・また、校種ごとに「特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応」の指標を明記している。
- ・研修受講の対象ステージを示し、研修員が自分の課題に合わせ、自ら選択できるよう心掛けている。
- ・特別支援学校におけるセンター的機能を担う教員を対象とした研修について、受講者の経験に応じて、基礎的内容と、発展的内容を選択して受講できるようにしている。
- ・初めて特別支援教育に携わる教職員に対して通年で4回の研修講座を実施している。
- ・育成指標を基にした研修内容の実施および研修形態の工夫により、学びの深まりにつなげる。
- ・担当者が研修ごとにカリキュラムマネジメントの視点からPDCAシートを作成し、次の研修に生かす。
- ・中堅研において、インクルーシブ教育システムの推進を目指して、異校種交流する研修を実施する。
- ・大阪府教員等育成指標に基づいた研修の実施
- ・通常の学級担任、通級指導担当教員、特別支援学級担任、特別支援学校教員の各ニーズに応じた選択研修の実施
- ・経験年数等によるキャリアステージごとに各分野で身に付けたい資質・能力の目標を示している。研修を企画する際は、それぞれのステージに応じた研修内容を検討している。
- ・教職経験年数にばらつきがある研修については、授業実践の交流の機会を設定するようにし、初めて担当する教員についても見通しをもつ機会になったり授業の引き出しを増やす機会になったり、不安を解消できる機会になったりするような工夫を行っている。また、特別支援教育の専門性の更なる向上を目指したワンランク上の研修講座も設定している。
- ・年齢や経験を考慮し、研修内容に応じたグループ編成の工夫
- ・島根県の特別支援教育に関する課題を基に、研修の在り方を検討している。初めて特別支援学級を担任する者、小・中学校の特別支援教育コーディネーターの育成に重点を置いた研修を検討している。
- ・「学び続ける教員のためのキャリアデザインノート」の活用
- ・専門講座を基礎・発展・充実に分けて実施している。
- ・県教育庁特別支援教育推進室と連携しながら、経験年数に応じた研修講座を開催している。
- ・とくしま教員育成指標をもとに、それぞれのキャリアステージに応じた研修を実施している。
- ・特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、通級による指導担当者については、経験年数別に研修を実施している。
- ・基礎研修(経年研修)においてそれぞれ特別支援教育の講義を設定する。
- ・研修の中で、中堅者と若年者が協議をする機会を設定している。
- ・特別支援学級やコーディネーターなどの職務への初任者に対し、職務研修を実施している。
- ・悉皆研修において、個々のステージに応じた研修を実施している。
- ・研修内容に応じて受講対象者(経験年数別)を設定
- ・福岡県教員育成指標を基に研修を企画及び実施し、研修後は自身のキャリアステージ向上に適した内容であったかどうかについて受講者にアンケートを取り、次年度の研修企画に生かすようにしている。
- ・教育事務所や県教育委員会と連携した研修を実施
- ・研修動画の作成
- ・校内研修の充実を目的とした、動画視聴をセットにした研修パッケージの提供
- ・経験や理解度に応じた推奨動画の案内
- ・研修者自身が自走できるように、自身の取組を振り返ったり、課題解決に向けて考えたりすることができる時間を設けている。
- ・県公立学校教員育成指標を基にした研修の構築
- ・特別支援学級、通級指導教室、特別支援教育コーディネーターの初担当研修の実施
- ・中級・上級特別支援教育コーディネーター研修の実施
- ・新任担当者、中級講座、上級講座の設定

- ・ 初任者研修や2年研・3年研においては基礎的・基本的な内容を中心に、5年研、中堅研では経験の浅い教職員に指導・助言をする機会を設け、15年研では自らの経験を生かした学校全体の状況を踏まえた研修内容に努めている。
- ・ 専門研修の講座一覧にキャリアステージや育成指標を明記し研修を申し込む際にわかりやすく表示している。
- ・ 本市では、初任者研修以外に、2校目研修、中堅研修、管理職の研修の中に特別支援教育に関する講義などを取り入れている。また特別支援学級の新担任者、2年目担任者に対する研修を行っている。
- ・ 法定研修における特別支援教育に関する研修の必修化 個々の専門性に応じた研修の実施
- ・ 障害種や受講者のニーズに応じた研修の充実を図っている。
- ・ 教職員用のサイトに研修動画や研修資料を掲載し、いつでも研修できる環境を整えている。また、個々の教員のニーズに応じて、授業動画や指導案等の視聴・閲覧もできるようにしている。
- ・ 新任教員研修、中堅教員研修などの年次研修との連携
- ・ 広島市教育センターでは若手・中堅・管理職ごとに研修を行っている。その中で、若手教員(1~3年目)では、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校を別日程で実施し、授業づくりを中心に、ビデオリフレクションを行っている。また、新規者に向けた研修では、特支の経験が長い先輩教員をグループのメンターとして招聘し、年2回実践交流を行っている。
- ・ 特別支援教育に関する研修会は、キャリアや関心等において選択できるようにしている。また、「通常学級における特別支援教育に関する研修会」を複数本企画している。
- ・ 所管の事業に対する研修を企画運営している。
- ・ (例)通級指導教室担当者2年以下の経験者向けにスタートアップ研修を実施
- ・ 担当指導主事をはじめ、ベテランの担当者が講師となって指導法の演習や指導教材の情報を提供
- ・ ステージ別に必要な研修を特別支援教育課と連携して取り組んでいる。
- ・ 本市では、新担任・新担当者を対象とした研修とそれ以外の方を対象とした研修、また、選択研修を多く取り入れるようにしており、受講者のニーズに応じて受講できるよう、幅広く研修を設定している。
- ・ 神戸市教員育成指標に基づき第3ステージに該当する教員を想定した内容を計画し、教員が学び続ける姿の実現を目指している。限られた対象者だからこそ、より内容を深められる利点はあるが、より多くの人に知ってもらうという研修ができていくことが課題。
- ・ 「教職員が自ら学びをデザインする研修体制づくり」の推進
- ・ 切れ目なく学び続けるための系統性のある研修
- ・ 「校内での学び」「校外での学び」「多様な学び」それぞれが、独立した学びとなるのではなく、相互に関連するような研修体制づくり

# 第3分科会

## 調査・研究

## 第3分科会 調査・研究に関する事情聴取の集約結果

### 主題 地域の現状に応じた特別支援教育の推進に向けての調査・研究の取組

#### I 特別支援教育に関する調査・研究事業の実施状況について

##### (1)実施の有無について

※選択肢から選んで回答(回答が③の場合、その理由を記入)

①調査・研究している(44)      ②過去に実施していた(7)      ③実施していない(9)      未回答(3)

実施していない場合、その理由

- ・ 県教育委員会で実施しているため。
- ・ 担当主事の不足
- ・ 長期研修制度を活用した研究としているため。
- ・ 本センターにおいて調査・研究に関する事業は実施していないため。
- ・ 就学・教育相談件数の増加を主な要因とした業務繁忙
- ・ 特別支援に特化したものではなく、教育センター全体での調査・研究に取り組んでいるから。
- ・ 各種調査はしているが、研究のための調査は近年行っていない。
- ・ 事業としては行っていないが、推進計画に沿った取組を進めている。
- ・ 開設して3年目と、まだ日が浅いため。

#### 2 過去3年間に実施した調査・研究について(主なものを3つまで、実施中も含む)

##### (1)内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究(27)
- ②特別支援学級、通級指導教室(通級による指導)に関わる研究(30)
- ③特別支援学校に関わる研究(14)
- ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究(12)
- ⑤その他(16)

※その他の内容

- ・ 小・中・高と特別支援学校に関わる研究
- ・ 小・中学校の特別支援学級、特別支援学校に関わる研究
- ・ 全校種に係る研究
- ・ 特別支援教育
- ・ 支援教育に関する研究
- ・ 通級による指導担当者と在籍学級の担任の連携について
- ・ 学習障害に関する研究
- ・ 高校生、特別支援学校高等部高等部生徒の進路選択と進路先への移行に関する研究
- ・ 教育相談にかかわる研究
- ・ 関係機関との連携、教育相談に関する研究
- ・ 特別支援教育コーディネーターに関わる研究
- ・ 一人1台端末の活用に関する研究
- ・ 幼児教育施設に関わる研究、就学先決定の手続きに関する研究

##### (2)実施期間

※一覧に記載

##### (3)調査・研究の題名

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究(27)
  - ・ 読み書きに困難のある児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究
  - ・ 特別な教育的支援を必要とする児童生徒へのチームで行う校内支援の充実 一話合いサポートツールの作成と活用を通して～
  - ・ ～特別支援教育の資質・能力を育成するために必要な研修内容・研修体系の再考～
  - ・ 学校のチームを支える一学校支援の充実と広がりを目指して～
  - ・ 多様性を包み込むインクルーシブな教育の充実
  - ・ 京都府総合教育センター特別支援教育部 プロジェクト研究 ICTを活用した読み書きに困難のある児童生徒への支援に関する知見のナレッジベースの作成
  - ・ 高等学校における障害のある生徒等への進路指導ガイド作成

- ・ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童に関する情報の引継ぎ及び活用
- ・ 通常の学級における特別の支援を必要とする児童生徒に関わる教員の指導力向上を目指した支援体制整備
- ・ 通常の学級における多様な児童生徒の理解と対応に関する研修プログラムの在り方～オンラインを活用した教材の開発と研修講座等での活用を通して～
- ・ 高等学校における学びのUD (ICT活用) についての研究
- ・ 多層指導モデルMIMの指導効果の実証のための研究
- ・ 教育研究員研究「通常の学級における支援教育に関する研究～特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり～」
- ・ 特別支援教育の充実を目指す学校間連携～高等学校と特別支援学校の取組から～
- ・ 特別支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制の構築と充実を支える学校支援
- ・ 中学校等から高等学校への連携の仕組みの構築
- ・ 学校現場の「学級づくり」を支える教育センターの取組～「スリンプル・プログラム」のスムーズな導入に向けて～
- ・ 特別支援教育の視点に立った個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりに関する研究－ニーズ調査を通じた学校サポート資料の作成－
- ・ 発達障害等の児童生徒に対する適切な支援を目指して
- ・ 子どもの実態に合った支援方法の立案ができる対話をめざして
- ・ 高等学校における校内支援体制の充実に関する研究－特別な支援を必要とする生徒を含む集団への多層的な支援を通して～
- ・ 児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習～小・中学校の通常の学級と特別支援学級における実践研究～
- ・ 思春期・青年期における多様なニーズの子どもへの支援のあり方を探る取組
- ・ 高等学校における自立活動の指導の充実に関する一考察(高等学校における通級による指導から)
- ・ 通常の学級における子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えるために～生徒指導・教育相談と特別支援教育の視点を融合させて～
- ・ ポジティブ行動支援のさらなる展開
- ・ 「読み・書き」に困難を抱える児童生徒の理解と学びの充実－「読み・書き」サポートブック作成を通して－

## ②特別支援学級、通級指導教室(通級による指導)に関わる研究 (30)

- ・ 自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実～子どもの姿から、中心的な課題を明らかにするために～
- ・ 特別支援学級におけるICT活用
- ・ 特別支援教室及び通級による指導に関する研究
- ・ 高等学校における通級による指導の充実
- ・ 通級による指導の充実に関する研究
- ・ 特別支援学級の授業づくりを支える教育センターにおける支援の在り方
- ・ 特別支援学級担当のためのハンドブックの改訂
- ・ 自閉症・情緒障害特別支援学級における児童生徒の自律的な学びを進める授業づくり
- ・ 小・中学校通級指導教室における指導の実態と課題に関する調査研究
- ・ 特別支援学級担任の支援の充実を目指して
- ・ 研修の成果物
- ・ ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究(文部科学省委託事業)
- ・ 特別支援学級の環境整備に関する一考察～特別支援教育ルームの活用～
- ・ 特別支援学級担任のハンドブック(追補版)【自立活動編】
- ・ 知的障がいのある児童の学習において、思考の整理を促し、表現する活動の充実に関する実践 (ICT活用)
- ・ 特別支援教育に係る研修動画コンテンツの作成
- ・ 中学校特別支援学級の生徒の「共に学ぶ交流及び共同学習」の充実
- ・ 京都府総合教育センター特別支援教育部 プロジェクト研究特別支援学級の授業づくり－自立活動の指導を軸に－
- ・ 通常の学級における障害のある児童生徒などへの対応の悩みとその解決に関する一考察
- ・ 自閉症・情緒障害特別支援学級における異年齢集団での授業づくり
- ・ 小学校(通級による指導)自立活動についての研究
- ・ 小・中学校の通級指導教室及び特別支援学級における自立活動に関する研究(1年次/2年)
  - －特別支援学級の自立活動に関する実態調査及び好事例の集積－
- ・ これからの特別支援教育における児童生徒の多様な学びの充実－特別支援学級における指導方法の提案－
- ・ 知的障害教育における自立活動の充実を目指して－研修会の実施とハンドブックの作成を通して－
- ・ 研修の成果物
- ・ 特別支援学級担任のハンドブック(新訂版)
- ・ 高等学校における通級による指導の導入に向けた実践的研究－「高校通級スタートパック」の作成を通して(1年計画)－
- ・ 指導・支援に生かす個別の指導計画にするために
- ・ 特別支援学級担任向けリーフレット及びWebサイトの作成
- ・ 特別支援学校・学級の児童生徒の個別最適な学び(仮)

### ③特別支援学校に関わる研究（14）

- ・特別支援学校における経験の浅い教員の資質能力の育成に向けた研究～学校における人材育成の取組を支えるために～
- ・特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研修 -自立活動資料(視覚・聴覚・肢体不自由・病弱)の作成を通して
- ・特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する調査研究 -子どもの自立と社会参加に向けて1人1台端末の活用-
- ・特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けたICT活用による取組のあり方
- ・「障害のある児童生徒の学びの充実を図る研究」-特別支援学校におけるICTの効果的な活用を通して-
- ・特別支援学校の「特別支援教育に関するセンター的機能」の充実に向けて-コーディネーターの活動を支える取組を通して-
- ・重度知的障害のある児童生徒への教科指導における授業づくりのプロセス
- ・特別支援学校高等部における自立と社会参加につながる自立活動の指導の在り方～生徒が学習の意義を理解して、主体的に学ぶ姿を目指した実践研究～
- ・特別支援学校(知的障害)におけるICTを活用した指導・支援の充実～障害の状態等に応じたタブレット端末の利用～
- ・「ともに学び、ともに育つ」教育の推進に向けた情報発信の在り方に関する調査・研究
- ・「一人一台端末・高速通信環境」を活かした特別支援教育におけるICT活用
- ・特別支援学校における電子黒板の活用に関する研究
- ・知的障害特別支援学校におけるプロジェクト型学習に関する研究
- ・小・中学校の特別支援学級及び通級指導教室における自立活動に関する研究(2年次/2年)-「小・中学校特別支援学級・通級指導教室における自立活動Q&Aハンドブック」の作成-

### ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究（12）

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の道徳教育の在り方
- ・障がいのある幼児児童生徒の学びを支えるICTの活用に関する調査・研究
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級授業づくり
- ・特別支援学校における知的障害のある生徒に対する美術教育の充実に関する研究
- ・特別支援学校におけるタブレット端末等ICT活用について
- ・生活単元学習の授業づくりに関する研究-各教科等とのつながりのある単元設定から学習評価までの考え方-
- ・知的障害教育における「育成を目指す資質・能力」を踏まえた学習指導と学習評価 -「みやぎ授業づくりガイド」の作成と活用を通して(1年目/2年計画)-
- ・特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に関する調査研究～教員と子供の味方となる「彩の国みんなのみかたプログラム」の開発～
- ・自立活動の指導に関する研究-多様な教育的ニーズのある児童生徒等の系統的な学びをめざして-
- ・教育課程研究会特別支援教育部会における研究「特別支援学級におけるキャリア教育の視点を取り入れた授業づくり」
- ・発達特性に応じた指導方法に関する研究-アセスメントを基にした指導の充実をめざして-
- ・教育課程研究会特別支援教育部会における研究

### ⑤その他（16）

- ・特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫
- ・特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究
- ・特別支援教育における主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究 -自立活動の視点に着目して～
- ・特別支援教育の専門性向上に関する研究
- ・通級による指導を在籍学級の指導、支援に生かすための連携の在り方
- ・学習障害の理解と支援に関する研究-背景要因の把握とつまずきに応じた指導支援の充実をめざして-
- ・教育と福祉の連携深化のためのコアカリキュラムに基づく支援人材育成研修の実践研究
- ・小・中学校における教育的ニーズに応じた支援につながる校内支援体制の構築と充実を目指して
- ・インクルーシブ教育システム構築のための地域支援事業
- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方-自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して-
- ・知的障害教育における学習評価から授業改善につながるフレームワークに関する研修
- ・特別な支援を必要とする子どもの卒業後の生活へのスムーズな移行に関する研究
- ・教育相談コーディネーターの養成について
- ・障がいのある子どもの就学先決定の手続きに関する研究
- ・知的障害教育における教育課程の評価と改善～観点別学習状況を踏まえた学習評価を中心に～
- ・特別支援教育におけるギガタブの効果的な活用を目指して

(4)還元・活用の方法

- ①発表会の実施 (65)      ②冊子・CD等で配付 (33)      ③ホームページで公開 (77)      ④研修に生かす(65)  
⑤その他 (6)

※その他の還元・活用の方法

- ・還元活用その他      ・研究実施中のため還元・活用は未実施      ・CABINTで公開
- ・小学校全校導入を目指す

(5)HP掲載について

※一覧に記載

(6)研究概要、成果物等のURL

※一覧に記載

3 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題について

※選択肢から選んで回答(3つまで)

- ①研究協力校、研究協力員の決定 (28)      ②研究協力校との連携の在り方(21)      ③子どもの診断 (1)  
④子どもの実態把握 (11)      ⑤子どもに対する具体的な支援方法 (10)      ⑥教員との課題意識の共有 (35)  
⑦校内の協力体制 (21)      ⑧保護者の理解と承諾 (3)      ⑨医療機関、相談機関との連携 (1)  
⑩その他 (8)

※その他の還元・活用の方法

- ・当センターにおける研究の位置付けの整理と研究成果の還元      ・研究を行う時間の確保
- ・普及に関すること      ・インクルーシブ教育の推進に係る課題
- ・研修による担当教員の専門性及び指導力の向上並びに児童・生徒の困難の軽減・克服
- ・教員への質問調査に係る所要時間の確保      ・県の施策等と連動した研究課題の設定
- ・現場の課題やニーズの把握

4 特別な支援を必要とする児童生徒への支援・授業づくりに関する、今後必要と考える調査・研究について

※今後必要と考えられる調査・研究について選択肢から1つ選んで回答し、具体的な内容を記入

今後必要と考えられる調査・研究

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること (13)  
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること (10)  
③合理的配慮にかかわること (3)      ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること (5)  
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること (2)  
⑥特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること (10)  
⑦高等学校に関すること (7)      ⑧家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること (0)  
⑨学習指導要領に関すること (0)      ⑩その他 (7)

具体的な内容

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ・研究対象校教員との学校における課題意識の共有とその課題解決に向けた学校体制の築き方及び主体的な学習者を育てる授業の在り方
- ・個々の児童生徒の多様な感じ方や学び方を認め合う学級づくりや授業づくり
- ・特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒へ適切にアセスメントし、必要な支援を取り入れた、誰もが主体的に取組み、分かる授業づくりについて実践を通じた調査研究
- ・発達障害のある児童生徒だけでなく多様な児童生徒にとって安心できる、また分かりやすい通常の学級の基礎的環境整備について
- ・通常学級担任向け研修講座の充実に向けて調査・研究中
- ・多様な児童生徒が在籍する中で、いかに個別最適な授業、学級づくりを実践するか。
- ・インクルーシブ教育の推進のために、個別最適な学びの授業づくりについて整理し、検討していく。
- ・通常学級における生徒や教師の困っている状況を把握し、ニーズに沿った支援につなげられるよう調査していく。その際、特別支援教育の理念や発達障害の特性等についても理解を促す方策を研究していく。
- ・実践とその効果の検証
- ・学校組織としての取組

- ・多くの先生方が障害特性を理解しながら授業づくりを行っていくことが、児童生徒の学びにも繋がること
  - ・授業のUD、学びのUD等の視点を大切にする授業づくり
  - ・通常学級に在籍する児童生徒に対する読み書き支援について
  - ・障がいの社会モデルをベースにした実践
  - ・多様な学び方を実現するための環境整備等
- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
- ・どのように児童・生徒の実態把握を行っているかについて等
  - ・連続性のある「多様な学びの場」を充実するための連携の在り方
  - ・児童生徒の特性や多様な実態を把握し、個々の教育ニーズに応じた学習指導や支援が展開できるような内容
  - ・支援が必要な子どもの姿とその要因や指導・支援方法について研究
  - ・通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への学習支援
  - ・発達障がいのある児童生徒の指導及び支援
  - ・児童生徒の実態把握の仕方について、成功事例の調査
  - ・発達障害のある児童生徒に対する支援・指導の内容及び方法の実際
  - ・特別支援教育を特別なものにししない教員の意識改革
  - ・通級による指導の充実と通級による指導を通常学級で生かすための連携の在り方についての実践研究
- ③合理的配慮にかかわること
- ・実践事例集の作成
  - ・好事例や具体的な実践などの共有が必要
  - ・支援を必要とする児童生徒に対する合理的配慮の具体例を含めた日々の支援のあり方について等
- ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
- ・発達段階に応じた適切な指導・支援について、優良実践事例
  - ・県の施策として進めているポジティブ行動支援を学校規模で取り入れていくための校内支援体制等に係る研究
  - ・各学校で体制づくりは進められているが、充実に向けた運営の在り方に関して調査・研究していく必要がある。
  - ・特別支援教育の支援を取り入れた学校経営体制
  - ・児童生徒の実態把握を基に、支援や授業づくりの在り方についての助言を行うが、その助言を学校や学級の事情に合わせてカスタマイズできるような学校内での体制づくり
- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
- ・全ての教員の特別支援教育への理解や、困難さのある児童生徒への指導・支援方法の習得
  - ・通常の学級の教員に対しても特別支援教育に関する理解を深めるための研修の実施
- ⑥特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ・自立活動の指導力向上
  - ・自立活動における指導の充実
  - ・今まで取り組んできた調査・研究内容の質的向上
  - ・各教科等を合わせた指導の評価規準の作成の考え方
  - ・地域の特性を踏まえた通級による指導の在り方に関する研究
  - ・連続性のある多様な学びの場の充実切れ目のない支援の引き継ぎと関係機関との連携強化
  - ・知的障がいのある子供の個別最適な学びと協働的な学びを提供する授業の在り方
  - ・自立活動の在り方
  - ・通級による指導と校内支援との接続
  - ・特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について
- ⑦高等学校に関わること
- ・高等学校教員の特別支援教育に関する理解と特性に応じた指導や支援、管理職のリーダーシップと特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の構築
  - ・外部連携も含めた、校内の支援体制づくりについて
  - ・高等学校における特別支援教育の推進について
  - ・高校における合理的配慮の提供の合意形成の手順や引継ぎの方法
  - ・インクルーシブ教育システムの推進のために、高等学校における特別支援教育の推進
  - ・高等学校における特別支援教育の充実
  - ・高等学校において特別支援教育を推進していくための体制整備
- ⑩その他
- ・「共に学ぶ教育」推進に向けた取組

- ・ 授業等でのICT活用状況の調査と障がい種に応じた効果的な指導・支援の取組の実践研究
- ・ 文部科学省著作教科書(知的障害者用)の活用及び指導に関すること
- ・ (ユニバーサルデザインの視点も包括した)誰もが自分の学びを実現できる学校・学級・授業づくり
- ・ 障害のある児童とない児童が共に学ぶ場の設定に関わること
- ・ インクルーシブ教育の推進に関わること
- ・ 学校と連携した該当校の課題解決に向けた研究

## 5 協議テーマ「調査・研究を共有し、活用するために」に関する工夫や取組

- ・ 令和5年度の研究では、校内の学校計画研修において、指導教諭が特別支援教育の基本や授業づくりに関する研修を効果的に実施することができるよう、説明原稿付きのパワーポイントとともに、各研修のねらいや演習のポイント、主な時間の目安などを示した資料をウェブ上で提供している。
- ・ 研究成果物のガイドブック等は、情報を網羅するのではなく、県内の先生方に必要と思われる情報を大胆に精選するとともに、読み返してもらえるよう内容のインパクトを重視している。
- ・ 研究成果をWebに公開し、研修講座等で積極的に活用したり広報したりしている。
- ・ 研究成果物の発行とその内容を踏まえた研修講座の実施。提案授業（前年度の研究内で行った授業を希望する学校で行う）の実施。研究内容や研究成果をセンターのホームページに掲載
- ・ 調査・研究を普及するためにホームページでの公開や各種研修会での広報に努めている。また、出前研修という形で研究成果物の普及を図るための取組に関して学校から希望を募っている。
- ・ 若手教員の児童生徒との関係づくりについての悩み事を調査し、それに対する先輩教員の取組をまとめたガイドブックを作成する。
- ・ 調査・研究の成果を、当センターの研修や学校・地域支援の講義内容等に盛り込み、活用するとともに、ホームページ等で広く発信している。
- ・ 積極的な成果物の紹介・普及、成果物の使いやすさの工夫（データ配付、リンクを貼る等）
- ・ 調査研究にあたり、関連のある内容を発表されている他の自治体の研究成果を参考にしている。
- ・ 長期研修員の調査・研究の取り組み方の改善
- ・ 可能な限り多くの意見を拾い上げるため、当センターが係る研修等で調査協力を依頼したり、研究結果の成果に触れたりするような場を設けている。
- ・ 推薦研修では、小・中・義務教育学校及び県立特別支援学校にその活用を周知している。
- ・ 昨年度の調査・研究での成果物の活用方法を、県内各地域の教育事務所や特別支援教育研究連盟主催の研修会で伝達講習を実施している。
- ・ 令和5年度（2023年度）教育課題研究「特別支援教室及び通級による指導に関する研究（2年次）」の成果を踏まえ、モデルプランとして指導主事が学校を訪問し、講義・演習等を通じて普及啓発活動を行っている。内容は、児童・生徒の強みや学習上又は生活上の困難をチェックリスト等により、的確に把握する演習や、自立活動の内容6区分27項目についての理解を深め、児童・生徒の実態に応じた自立活動の在り方について理解を深める研修などである。
- ・ 県の課題及び各校種の課題など実態調査を行った上で調査研究の課題設定を行うことにより、教職員のニーズに応じた研究を実施している。
- ・ （調査・研究だけではなく、）特別支援教育資料、チェックリスト、研修動画コンテンツ等の成果物を共有・活用するために、活用の仕方に関する研修の実施、ちらしの全学校への配付、研修会場での紹介を行っている。
- ・ ホームページの改修と充実
- ・ 県教委と連携し、事業の企画、調査の必要性、結果の共有を行っている。
- ・ 研修用動画の作成や帰校後の授業づくりのサポートになるよう、研修講座への活用を重視している。
- ・ 研究の成果や成果物を活用した研修内容を考え、パッケージ化して学校へと周知していく。
- ・ 研究を紹介するチラシを来所者が自由に手に取れるように置いたり、教育事務所の特別支援教育担当指導主事が参加する会議で配布したりして、周知している。
- ・ 研究においては、研究発表大会による発表、HP掲載、オンデマンドによる配信、さらにステージ研修における研修成果物の活用に取り組んでいる。
- ・ 成果物を活用した研修の実施
- ・ 通常の学級における特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の充実に向け、他科（義務教育研修課、高校教育研修課）との協働による研究
- ・ 市町村教育委員会の特別支援教育担当者を対象とした連絡協議会にて、調査の結果やそれを踏まえた県の事業等の説明を行っている。
- ・ 調査・研究事業は実施していない。
- ・ 調査・研究で作成した成果物を、HPに掲載するだけでなく、研修で活用したり、各学校に紹介したりすることで、理解・啓発を進めている。
- ・ 研修及び支援事業において生かしている。
- ・ 研究成果をHPに掲載、及び、授業づくり実践検討会等で紹介
- ・ 調査、研究については、できる限り県の施策と連動したものを設定し、調査、研究したものが、施策の中で生かされるようにしている。
- ・ 協力校を募り、学校現場で課題とされている問題の解決を支援する。
- ・ 報告書の発行、研究は発表会の実施を通して、調査研究の成果の共有を図る。
- ・ 現職教育などに指導主事を派遣し、研究成果を踏まえた指導・助言を行う。
- ・ 調査研究発表会で報告をし、ホームページで成果物を活用できるようにしている。
- ・ 研究成果物の内容を研修内に取り入れている。
- ・ 特別支援教育に関する研究を行っている教職大学院の授業で、特別支援教育に関する研修体系について情報提供を行っている。
- ・ 研修時に過去の研究成果物等を紹介し所属校での活用を促している。
- ・ 特別支援教育チームだけでなく、教育相談チーム等と連携しながら研究を行っている。
- ・ 県内の特別支援学校から、ICTを活用した授業についてデータベース化を図り、入稿、閲覧、活用ができるようにしている。
- ・ 本センターでの研修や学校に出向いての研修の際に、紹介及び活用をしている。また、研修者に各自が実践においてどのように活用したかを回答フォームを利用して把握をしている。
- ・ 研修内容に還元するとともに、研修時に成果物等のHP掲載を伝達
- ・ 別冊成果刊行物を作成し、研修等で活用できるようにする。

- ・ 特別支援教育に関する調査結果（研修内容のニーズ）から、ニーズの高い内容を踏まえ、幅広く学校に還元できる内容について取り組んでいる。
- ・ 研究内容を各学校で活用してもらえるようCABINETへ資料を格納し、実際に使用するデータはWORDでも格納している。
- ・ 調査結果や研究報告について特別支援学級担当者会等で共有している。研究成果についてはセンターでの研究報告会で伝え、研究紀要を作成している。
- ・ センター内で学習会を開き、同じようなテーマで実践研究を行っている全国の学校に視察に行った指導主事が学んだ最新の情報を共有している。
- ・ 教職員が閲覧できるポータルサイトに、研究発表動画や研修成果物（環境チェック表・支援内容リスト等）を掲載し、教員の目的に応じて閲覧・共有・利用できるようにしている。
- ・ 研究で得られた実践内容を活用して研修動画作成配信を行っている。
- ・ 広島市においても特別支援学級が増加傾向にあり、初めて特別支援学級を担任する教員も増加している中で、教室の構造化や支援ツールなどの理解が不十分であると感じている。そこで、教育センター内に「特別支援教育モデルルーム」を設置した。このモデルルームは本市の特別支援教育に造詣が深い校長や教諭らと共同で作製したもので、知的障害特別支援学級と自閉症・情緒障害特別支援学級の教室をまるごと展示し、教材に触れたり体験したりすることができる。今後、読み書きに対する支援ツールや、特別支援教育におけるICT活用体験コーナーを設置する予定である。
- ・ 読み書きに課題がある子どもを早期に把握、支援を実施していけるよう、市内13小学校にて多層指導モデルMIMを試験的に導入し検証を実施
- ・ 新潟市内全ての小中特別支援学校に個別の教育計画アプリを導入し合理的配慮の提供についての調査を継続して行っている。
- ・ 研究内容については広くホームページに掲載し、市民へ公表するようにしている。市内教職員においては、Googleサイト・Googleドライブを活用して広く情報発信し、いつでも見られるような環境づくりに努めている。
- ・ 本市が設置している319の園・学校へ共有し、活用していくために、特別支援教育コーディネーターの研修等で、取組の趣旨や具体的な取組方法、期待できる効果などを伝える。

過去3年間に実施した調査・研究一覧

北海道立特別支援教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R5 ~ R6	特別支援学校における経験の浅い教員の資質能力の育成に向けた研究～学校における人材育成の取組を支えるために～	① ③ ④	している	<a href="http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/netcommons3/page_id1150">http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/netcommons3/page_id1150</a>
②	R4 ~ R5	特別支援学級担任のハンドブック(追補版)【自立活動編】	① ③ ④	している	<a href="http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/netcommons3/page_id1066">http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/netcommons3/page_id1066</a>
②	R2 ~ R4	特別支援学級担任のハンドブック(新訂版)	① ③ ④	している	<a href="http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/page_20240422094859">http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/page_371/page_20240422094859</a>

青森県総合学校教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R3 ~ R6	読み書きに困難のある児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究	① ③ ④	している	小・中学校の通常の学級における読み書きに困難のある児童生徒の学び支援ガイド <a href="https://ts.edu-c.pref.aomori.jp/reaserch/manabikata">https://ts.edu-c.pref.aomori.jp/reaserch/manabikata</a>

岩手県立総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R2 ~ R5	特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研修 -自立活動資料(視覚・聴覚・肢体不自由・病弱)の作成を通して	① ② ③	している	(特別支援教育を含む領域等研究のページ) <a href="https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/210sien.html">https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/210sien.html</a>
②	R4 ~ R4	知的障がいのある児童の学習において、思考の整理を促し、表現する活動の充実に関する実践(ICT活用)	① ③ ④	している	(国語) <a href="https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/02ryouiki/210sien/r04_17_05_1.pdf">https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/02ryouiki/210sien/r04_17_05_1.pdf</a> (算数) <a href="https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/02ryouiki/210sien/r04_17_05_3.pdf">https://www.i.wate-ed.jp/04kenkyu/02ryouiki/210sien/r04_17_05_3.pdf</a>
①	R6 ~ R6	高等学校における校内支援体制の充実に関する研究 -特別な支援を必要とする生徒を含む集団への多層的な支援を通して-	① ③ ④	していない	ユニバーサルデザインの視点から1次支援を行うことで、学級や生徒の実態把握を更に深め、今後の支援方略を学校全体で考えられるような校内委員会の機能強化に資する。

宮城県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R5 ~ R6	特別な教育的支援を必要とする児童生徒へのチームで行う校内支援の充実 -話し合いサポートツールの作成と活用を通して-	① ③ ④	している	<a href="https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/hanasapo/">https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/hanasapo/</a>
④	R3 ~ R5	知的障害教育における「育成を目指す資質・能力」を踏まえた学習指導と学習評価 -「みやぎ授業づくりガイド」の作成と活用を通して(1年目/2年計画)-	① ③ ⑤	している	<a href="https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/">https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/</a>
②	R2 ~ R3	高等学校における通級による指導の導入に向けた実践的研究 -「高校通級スタートパック」の作成を通して(1年計画)-	① ③ ④	している	<a href="https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/koukou-tsukuy/">https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/koukou-tsukuy/</a>

秋田県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R4 ~ R5	特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫	① ③ ④	している	<a href="https://www.akita-c.ed.jp/new_hp/teacher_site/r6seitoshidou/R4R5.pdf">https://www.akita-c.ed.jp/new_hp/teacher_site/r6seitoshidou/R4R5.pdf</a>

福島県特別支援教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R5 ~ R7	小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実に向けた研修の在り方～特別支援教育の資質・能力を育成するために必要な研修内容・研修体系の再考～	① ③ ④	している	<a href="https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/4324">https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/4324</a> <a href="https://special-center.fcs.ed.jp/page_20240322025508">https://special-center.fcs.ed.jp/page_20240322025508</a>
③	R5 ~ R6	特別支援学校高等部における自立と社会参加につなげる自立活動の指導の在り方～生徒が学習の意義を理解して、主体的に学ぶ姿を目指した実践研究～	① ③ ④	している	<a href="https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/4324">https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/4324</a>
①	R3 ~ R4	児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習～小・中学校の通常の学級と特別支援学級における実践研究～	① ② ③	している	<a href="https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/3536">https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/24/3536</a> <a href="https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/1/3597">https://special-center.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/1/3597</a>

茨城県教育研修センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R3 ~ R4	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の道徳教育の在り方	① ③ ④	している	<a href="https://kyozai.ibk.ed.jp/material-db/detail/20522">https://kyozai.ibk.ed.jp/material-db/detail/20522</a>
⑤	R5 ~ R6	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方-自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して-	① ③ ④	—	

栃木県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R3 ~ R3	自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実～子どもの姿から、中心的な課題を明らかにするために～	② ③ ④	している	自立活動の指導を考える際に、子どもの姿から中心的な課題を明らかにするためのポイントをまとめた。 <a href="https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r05-2.htm">https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r05-2.htm</a>
③	R4 ~ R4	特別支援学校(知的障害)におけるICTを活用した指導・支援の充実～障害の状態等に応じたタブレット端末の利用～	③ ④	している	知的障害の学習上の特徴を踏まえたICTの活用についての基本的な考え方や児童生徒実態に応じた効果的な指導・支援の実践事例についてまとめた。 <a href="https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r04.htm">https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r04.htm</a>
②	R5 ~ R5	指導・支援に生かす個別の指導計画にするために	③ ④	している	個別の指導計画を指導・支援に生かすために大切にしたい5つのことをまとめた。 <a href="https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r03.htm">https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r03.htm</a>

## 群馬県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R3 ~ R3	特別支援学級におけるICT活用	③ ④	している	<a href="https://center.gsn.ed.jp/tokushi">https://center.gsn.ed.jp/tokushi</a>
②	R4 ~ R5	特別支援教育に係る研修動画コンテンツの作成	③	—	

## 埼玉県立総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R5 ~ R6	特別支援教育コーディネーターの連携と協働に関する調査研究	① ③	している	<a href="https://www.center.spec.ed.jp/cyousakenkyu">https://www.center.spec.ed.jp/cyousakenkyu</a>
④	R3 ~ R4	特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に関する調査研究～教員と子供の味方となる「彩の国みんなのみかたプログラム」の開発～	① ③	—	

## 千葉県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R6 ~ R7	特別支援教育における主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究～自立活動の視点に着目して～	① ③ ④	している	<a href="https://www.ice.or.jp/nc//investigation/houkoku/tokushi/saisin">https://www.ice.or.jp/nc//investigation/houkoku/tokushi/saisin</a>
⑤	R4 ~ R5	知的障害教育における学習評価から授業改善につなげるフレームワークに関する研修	① ③ ④	—	
⑤	R2 ~ R3	知的障害教育における教育課程の評価と改善～観別学習状況を踏まえた学習評価を中心に～	① ③ ④	—	

## 東京都教職員研修センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R4 ~ R5	特別支援教室及び通級による指導に関する研究	① ③ ④	している	<a href="https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/O9seika/reports/bulletin/r5_seika1.html">https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/O9seika/reports/bulletin/r5_seika1.html</a>

## 神奈川県立総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R2 ~ R4	特別支援教育の専門性向上に関する研究	② ③ ④	している	<a href="https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/kenkyu/seikabutsu.html">https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/kenkyu/seikabutsu.html</a>

## 新潟県立教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R1以前 ~ R3	高等学校における通級による指導の充実	① ③	している	過去の調査研究の概要を掲載。R4年度からは、高等学校における特別な支援を要する生徒の卒業後を見据えた指導・支援の研究として調査研究を開始。3年目の本年度は同敷地内の高等学校と特別支援学校の学校間連携に焦点をあて発表。 <a href="http://www.niigata-educ.nein.ed.jp/study14.html">http://www.niigata-educ.nein.ed.jp/study14.html</a>
①	R4 ~ R6	特別支援教育の充実を目指す学校間連携～高等学校と特別支援学校の取組から～	① ③	—	

## 富山県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R5 ~ R6	通級による指導を在籍学級の指導、支援に生かすための連携の在り方	③ ④	していない	

## 福井県特別支援教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R5 ~ R5	学校のチームを支える—学校支援の充実と広がりを目指して—	②	—	
①	R4 ~ R4	特別支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制の構築と充実を支える学校支援	②	—	
①	R3 ~ R3	思春期・青年期における多様なニーズの子どもへの支援のあり方を探る取組	②	—	

## 山梨県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R6 ~ R8	学習障害の理解と支援に関する研究—背景要因の把握とつまづきに応じた指導支援の充実をめざして—	① ③	していない	
④	R5 ~ —	自立活動の指導に関する研究—多様な教育的ニーズのある児童生徒等の系統的な学びをめざして—	① ② ③	している	<a href="https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4767">https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4767</a> <a href="https://www.ypec.ed.jp/?page_id=91">https://www.ypec.ed.jp/?page_id=91</a>
④	R3 ~ R4	発達特性に応じた指導方法に関する研究—アセスメントを基にした指導の充実をめざして—	① ② ③	している	<a href="https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4767">https://www.ypec.ed.jp/?page_id=4767</a> <a href="https://www.ypec.ed.jp/?page_id=91">https://www.ypec.ed.jp/?page_id=91</a>

## 長野県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R3 ~ R5	多様性を包み込むインクルーシブな教育の充実 「児童生徒理解を深めるために～教職員の児童生徒理解を支援する～」	③ ④	している	研修用動画「ここが知りたい!クラスの気になる子の指導・支援」

## 静岡県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R4 ~ R6	特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する調査研究 -子どもの自立と社会参加に向けて1人1台端末の活用-	① ③ ④	している	<a href="https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/page_20230316234002">https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/page_20230316234002</a>

## 愛知県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R2 ~ R4	通級による指導の充実に関する研究	① ③	している	<a href="https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/tsukyu/index.html">https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/tsukyu/index.html</a>
⑤	R5 ~ R7	特別な支援を必要とする子どもの卒業後の生活へのスムーズな移行に関する研究	— — —	—	

## 滋賀県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R3 ~ R5	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けたICT活用による取組のあり方	① ② ③	している	研究概要 <a href="https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705985482553/index.html">https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705985482553/index.html</a>
②	R6 ~ R6	中学校特別支援学級の生徒の「共に学ぶ交流及び共同学習」の充実	⑤	している	成果物 <a href="https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705995760460/simple/R50401.pdf">https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705995760460/simple/R50401.pdf</a>

## 京都府総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R1以前 ~ R6	京都府総合教育センター特別支援教育部 プロジェクト研究 ICTを活用した読み書きに困難のある児童生徒への支援に関する知見のナレッジベースの作成	② ③ ④	している	<a href="https://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?p=1208">https://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?p=1208</a>
②	R5 ~ R6	京都府総合教育センター特別支援教育部 プロジェクト研究 特別支援学級の授業づくりー自立活動の指導を軸にー	② ③ ④	している	<a href="https://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?p=5425">https://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?p=5425</a>

## 大阪府教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R2 ~ R3	障がいのある幼児児童生徒の学びを支えるICTの活用に関する調査・研究	③	している	<a href="https://www.osaka-c.ed.jp/matters/specialneeds_top.html">https://www.osaka-c.ed.jp/matters/specialneeds_top.html</a>
③	R4 ~ R5	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進に向けた情報発信の在り方に関する調査・研究	② ③	—	

## 兵庫県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R2 ~ R3	高等学校における障害のある生徒等への進路指導ガイド作成	① ③ ④	している	本県の相談内容に応じた相談先の掲載等、障害のある高校生の進路指導活用支援ガイド <a href="https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/uploads/sites/9/2023/12/shinroshidouguide.pdf">https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/uploads/sites/9/2023/12/shinroshidouguide.pdf</a>
②	R6 ~ R7	通常の学級における障害のある児童生徒などへの対応の悩みとその解決に関する一考察	① ③ ④	していない	初任者等が直面する特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の悩みをどのように解決しているかを明らかにし、年次研修の充実を図る。
①	R6 ~ R8	高等学校における自立活動の指導の充実に関する一考察(高等学校における通級による指導から)	① ③ ④	していない	県内の通級による指導拠点校に協力を求め、実態把握の方法や指導内容等について検討し、高等学校における自立活動の効果的な指導モデルを示す。

## 奈良県教育委員会事務局 特別支援教育推進室

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R5 ~ R6	通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童に関する情報の引継ぎ及び活用	① ④	—	
①	R5 ~ —	中学校等から高等学校への連携の仕組みの構築	② ④	—	
③	R5 ~ —	特別支援学校における電子黒板の活用に関する研究	①	—	

## 和歌山県教育センター学びの丘

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R2 ~ R3	自閉症・情緒障害特別支援学級授業づくり	③ ④	している	<a href="http://www.manabi.wakayama-c.ed.jp/tokusi/3points.pdf">http://www.manabi.wakayama-c.ed.jp/tokusi/3points.pdf</a>

島根県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R3 ~ R4	特別支援学級の授業づくりを支える教育センターにおける支援の在り方	① ② ③	している	<a href="https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/chosa-kenkyu/kiyo-hokokusho/index.html">https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/chosa-kenkyu/kiyo-hokokusho/index.html</a>
①	R5 ~ R6	学校現場の「学級づくり」を支える教育センターの取組 ～「スリンプル・プログラム」のスムーズな導入に向けて～	① ② ③	している	<a href="https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/chosa-kenkyu/seikabutsu/index.html">https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/chosa-kenkyu/seikabutsu/index.html</a>
①	R5 ~ R6	通常の学級における子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えるために～生徒指導・教育相談と特別支援教育の視点を融合させて～	① ② ③	—	

岡山県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R6 ~ R6	特別支援学級担当のためのハンドブックの改訂	② ③	—	

広島県立教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R5 ~ R5	自閉症・情緒障害特別支援学級における児童生徒の自律的な学びを進める授業づくり	① ④ ③	している	<a href="https://www.hiroshima-c.ed.jp/research.html">https://www.hiroshima-c.ed.jp/research.html</a>
②	R4 ~ R4	自閉症・情緒障害特別支援学級における異年齢集団での授業づくり	① ④ ③	—	
③	R2 ~ R3	知的障害特別支援学校におけるプロジェクト型学習に関する研究	① ④ ③	—	

やまぐち総合教育支援センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R4 ~ R4	特別支援学校における知的障害のある生徒に対する美術教育の充実に関する研究	① ③	している	(研究の概要) <a href="https://drive.google.com/file/d/1pe_MsutgWRPQ_BGzRaMGfMYOnfESqF8o/view">https://drive.google.com/file/d/1pe_MsutgWRPQ_BGzRaMGfMYOnfESqF8o/view</a>

徳島県立総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R4 ~ R5	教育と福祉の連携深化のためのコアカリキュラムに基づく支援人材育成研修の実践研究	② ③ ④	している	国立特別支援教育総合研究所の「研修コアカリキュラム(案)」等を基に徳島県版「研修シラバス表」(試案)を作成し、研修内容の整理及び改善方針の検討 <a href="https://www.tokushima-ec.ed.jp/Link_DL/shiryou/kiyou">https://www.tokushima-ec.ed.jp/Link_DL/shiryou/kiyou</a>
⑤	R5 ~ R6	教育相談コーディネーターの養成について	② ③ ④	していない	徳島県における教育相談の方向性の明確化と、機能的な校内支援体制の構築に向けて、アンケートをもとに学校現場のニーズを明らかにし、より実効性のある研修会の実施と、力量ある教育相談コーディネーター養成を行うための方策を探る。
①	R6 ~ R7	ポジティブ行動支援のさらなる展開	② ③ ④	していない	徳島県においてスクールワイドPBSをさらに展開していくために、学校・園における実践の支援を担い得る人材の育成と、継続的な支援を可能とする環境整備について検証する。

香川県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R5 ~ R7	特別支援学校におけるタブレット端末等ICT活用について	② ③ ④	している	<a href="https://www.kagawa-edu.jp/educ01/section/research/report#frame-41">https://www.kagawa-edu.jp/educ01/section/research/report#frame-41</a>

愛媛県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
④	R4 ~ R5	生活単元学習の授業づくりに関する研究－各教科等とのつながりのある単元設定から学習評価までの考え方－	① ③ ④	している	<a href="https://center.esnet.ed.jp/kenkyu_top/seikabutsu">https://center.esnet.ed.jp/kenkyu_top/seikabutsu</a>
①	R6 ~ —	特別支援教育の視点に立った個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりに関する研究－ニーズ調査を通じた学校サポート資料の作成－	① ③ ④	—	

福岡県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R2 ~ R4	通常の学級における特別の支援を必要とする児童生徒に関わる教員の指導力向上を目指した支援体制整備	① ③ ④	している	特別支援教育セルフチェックシート

佐賀県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
⑤	R5 ~ R5	小・中学校における教育的ニーズに応じた支援につなげる校内支援体制の構築と充実を目指して	② ③ ④	している	特別支援教育コーディネーターが役割を円滑に遂行するためのリーフレットの作成 <a href="https://www.saga-ed.jp/2023/12/20/%e4%bb%a4%e5%92%8c%ef%bc%95%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e3%80%80%e5%80%8b%e5%88%a5%e5%ae%9f%e8%b7%b5%e7%a0%94%e7%a9%b6%e3%80%80%e7%89%b9%e5%88%a5%e6%94%af%e6%8f%b4%e6%95%99%e8%82%b2/">https://www.saga-ed.jp/2023/12/20/%e4%bb%a4%e5%92%8c%ef%bc%95%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e3%80%80%e5%80%8b%e5%88%a5%e5%ae%9f%e8%b7%b5%e7%a0%94%e7%a9%b6%e3%80%80%e7%89%b9%e5%88%a5%e6%94%af%e6%8f%b4%e6%95%99%e8%82%b2/</a>

長崎県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R5 ~ R7	通常の学級における多様な児童生徒の理解と対応に関する研修プログラムの在り方～オンラインを活用した教材の開発と研修講座等での活用を通して～	— — —	していない	
③	R3 ~ R4	「一人一台端末・高速通信環境」を活かした特別支援教育におけるICT活用	① ④	—	

熊本県立教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
①	R3 ~ R3	高等学校における学びのUD (ICT活用) についての研究	① ③ ④	している	HP掲載は、本県教職員のみ閲覧可
②	R4 ~ R4	小学校(通級による指導)自立活動についての研究	① ③ ④	している	HP掲載は、本県教職員のみ閲覧可
②	R5 ~ R6	特別支援学級担任向けリーフレット及びWebサイトの作成	② ③ ④	している	<a href="https://sites.google.com/g.bears.ed.jp/kcenterspsite/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0">https://sites.google.com/g.bears.ed.jp/kcenterspsite/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0</a>

大分県教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R4 ~ R4	小・中学校通級指導教室における指導の実態と課題に関する調査研究	③ ④	している	<a href="https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/chousa-kenkyu.html">https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/chousa-kenkyu.html</a>
②	R5 ~ R5	小・中学校の通級指導教室及び特別支援学級における自立活動に関する研究(1年次/2年) -特別支援学級の自立活動に関する実態調査及び好事例の集積-	③ ④	している	<a href="https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/center-tokushi-jirei.html">https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/center-tokushi-jirei.html</a>
③	R6 ~ R6	小・中学校の特別支援学級及び通級指導教室における自立活動に関する研究(2年次/2年)-「小・中学校特別支援学級・通級指導教室における自立活動Q&Aハンドブック」の作成-	② ③ ④	—	

鹿児島県総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R4 ~ —	「障害のある児童生徒の学びの充実を図る研究」 -特別支援学校における ICT の効果的な活用を通して-	① ③ ④	している	<a href="https://sites.google.com/kago.ed.jp/chousakennkyuu/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0">https://sites.google.com/kago.ed.jp/chousakennkyuu/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0</a>
②	R5 ~ R6	これからの特別支援教育における児童生徒の多様な学びの充実-特別支援学級における指導方法の提案-	① ③ ④	—	

沖縄県立総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R3 ~ —	特別支援学校の「特別支援教育に関するセンター的機能」の充実に向けて-コーディネーターの活動を支える取組を通して-	①	していない	
②	R3 ~ —	知的障害教育における自立活動の充実を目指して-研修会の実施とハンドブックの作成を通して-	① ③	している	<a href="http://tokusi.edu-c.open.ed.jp">tokusi.edu-c.open.ed.jp</a>
①	R4 ~ R5	「読み・書き」に困難を抱える児童生徒の理解と学びの充実-「読み・書き」サポートブック作成を通して-	①	していない	

千葉市養護教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
②	R3 ~ R3	特別支援学級担任の支援の充実を目指して	① ④ ⑤	している	<a href="https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/yogokyoiku/documents/r3_tokutannatameno_handobook.pdf">https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/yogokyoiku/documents/r3_tokutannatameno_handobook.pdf</a>
①	R4 ~ R5	発達障害等の児童生徒に対する適切な支援を目指して	① ④ ⑤	していない	発達障害等の児童生徒の見立てや支援方法についてのハンドブックの作成
⑤	R5 ~ R5	特別支援教育におけるギガタプの効果的な活用を目指して	① ④ ⑤	していない	効果的な活用の事例集の作成

川崎市総合教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL
③	R3 ~ R3	重度知的障害のある児童生徒への教科指導における授業づくりのプロセス	① ② ④	している	<a href="https://kawasaki-edu.jp/index.cfm/7.html">https://kawasaki-edu.jp/index.cfm/7.html</a>
①	R5 ~ R5	子どもの実態に合った支援方法の立案ができる対話をめざして	① ② ④	—	
②	R6 ~ R6	特別支援学校・学級の児童生徒の個別最適な学び(仮)	① ② ④	—	

横浜市特別支援教育総合センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
②	—	～	—	研修の成果物	②	③	④	⑤	していない	特別支援教育コーディネーターの手引きの発出
②	—	～	—	研修の成果物	②	③	④	⑤	していない	問題解決型ケース会議のガイドブックの発出(ケース会議の運営)

京都市教育委員会事務局 指導部総合育成支援課

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
—	R1以前	～	—	①③文部科学省委託「病気療養中の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業」	①	③	④	⑤	している	<a href="https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/center/study/page_20230309011629">https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/center/study/page_20230309011629</a>
—	R5	～	—	④支援の必要な児童生徒が安心して学ぶことができる授業づくり	①	③	④	⑤	—	
—	R4	～	—	④障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の充実	①	③	④	⑤	—	

大阪市教育委員会事務局指導部 インクルーシブ教育推進室

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
②	R3	～	R4	ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究(文部科学省委託事業)	②	④	⑤	⑥	していない	特別支援学校及び通級による指導における自立活動の6区分に応じたICTを活用した指導内容を検討し、活用事例を収集した。

広島市教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
②	R6	～	R7	特別支援学級の環境整備に関する一考察～特別支援教育ルームの活用～	②	④	⑤	⑥	—	

浜松市教育委員会教育支援課 発達支援グループ

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
①	R5	～	—	多層指導モデルMIMの指導効果の実証のための研究	⑤	⑥	⑦	⑧	—	

相模原市教育センター

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
①	R3	～	R5	教育研究員研究「通常の学級における支援教育に関する研究～特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり～」	①	③	④	⑤	している	<a href="https://kyoikucenter.sagamihara.andteacher.jp/modules/ictca_base/include/js/ckeditor/kcfinder/upload/files/20230707164949.pdf">https://kyoikucenter.sagamihara.andteacher.jp/modules/ictca_base/include/js/ckeditor/kcfinder/upload/files/20230707164949.pdf</a>
④	R4	～	R6	教育課程研究会特別支援教育部における研究「特別支援学級におけるキャリア教育の視点を取り入れた授業づくり」	①	③	④	⑤	していない	Google ドライブ内に格納し、本市の教職員のみが閲覧できる形としている。
④	R5	～	R7	教育課程研究会特別支援教育部における研究	①	③	④	⑤	—	

札幌市教育委員会事務局

(1)内容	(2)実施期間	(3)調査・研究の題名	(4)還元・活用	(5)HP掲載	(6)研究概要、成果物等のURL					
⑤	R2	～	R4	インクルーシブ教育システム構築のための地域支援事業	②	③	④	⑤	している	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center/regional_support_R3">https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center/regional_support_R3</a>
⑤	R3	～	R4	障がいのある子どもの就学先決定の手続きに関する研究	③	④	⑤	⑥	している	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research/b-379">https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research/b-379</a>

# 第4分科会

## 管理・運営

第4分科会 管理・運営に関する聴取事項調査票の集約結果

主題 インクルーシブ教育システム推進に向けた特別支援教育センターの役割

Ⅰ 特別支援教育の推進に向けた取組について

(1) 推進に向けた取組の具体的な内容について

※該当する主なものを選択肢から3つ選んで回答

①センター所員の講師派遣(校内研修、事例検討、保護者研修等)	50
②専門家チームや巡回相談チーム等の一員としての派遣	11
③資料・情報提供、リーフレット・サポートブック等の作成と公開	22
④研究の実施と発信	14
⑤研修講座・セミナー等の開催と充実	38
⑥管理職研修、基本研修等における特別支援教育に関する内容の充実	25
⑦研修講座の地域開催	2
⑧教員の自主研修支援(センター内施設の利用、アドバイス等)	0
⑨研修講座の講義内容の公開	1
⑩教育相談、就学相談事業等の実施と充実	16
⑪その他	1

※その他:オンデマンド研修の充実

(2) 推進に向けての課題や重視している点について

※該当する主なものを選択肢から3つ選んで回答

①研修の実施	36
②特別支援教育に関わる情報提供	19
③センター内体制整備	10
④通常の学級の指導の支援	40
⑤都道府県、市町村教育委員会との連携	21
⑥特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室(通級による指導)の専門性の向上	47
⑦その他	3

※その他:特別支援学校教員と通常の学校教員が共に学ぶ研修構成

(3) 推進に向けた取組に関する都道府県教委または市町村教委と、センターの行う事業との機能分担

※主に担っているものは◎、担っているものは○、担っていないものは△を選択して回答

担っていること	都道府県市教委			特別支援教育センター		
	◎	○	△	◎	○	△
①研修講座の実施	14	30	7	50	5	0
②コーディネーター研修の実施	30	15	7	32	12	11
③各種事業施策等の企画・実施	52	2	1	4	23	23
④学校への専門的指導・助言	37	16	1	20	30	3
⑤専門家や教員等の学校派遣	36	13	4	14	15	24
⑥調査研究の実施	14	27	13	32	10	13
⑦情報提供、発信等	34	19	1	20	33	2
⑧理解・啓発、資料作成等の広報	38	15	1	12	37	5
⑨教育相談、就学相談の実施	31	17	6	30	14	10
⑩各種推進会議、協議会等の開催	50	4	1	3	19	31
⑪その他	0	0	0	0	0	0

(4) 推進に向けた取組に関する都道府県教委または市町村教委と、センターの行う事業との連携

※該当する主なものを選択肢から3つ選んで回答

①研修の企画・運営、講師派遣	32
②研修講座の連携開催	22
③情報発信、情報交換、情報提供及び資料の提供と交換	24
④特別支援教育各種推進事業に係る会議・専門家チーム会議等の開催	24
⑤指導主事を講師として派遣	21
⑥教育相談事業、巡回相談事業等における協力	12
⑦就学相談、就学指導の実施	12
⑧高等学校における特別支援教育の支援事業	3
⑨調査研究リーフレットや資料等の合同作成	4
⑩特別支援学校のセンター的機能の向上	7
⑪その他	1

※その他:教育委員会と教育センターの特別支援教育に関する研修機能の統合及び子ども青少年局の教育相談との連携により対応

2 センター所員の専門性向上について

※選択肢から選んで回答(3つまで複数回答可)

(1) 所内における所員研修の具体的な取組

①教育相談、特別支援教育担当者の研修会・事例検討会等の実施	33
②所員への研修、伝達講習、特別支援教育関係資料の閲覧等の実施	40
③研修講座講師の講義の聴講や各種研修会や研究会への参加	43
④個人研修の実施	13
⑤関係機関との合同研修や研究の実施	6
⑥新任所員研修の実施	8
⑦特別支援教育・教育相談担当と他の担当とが連携した研修・研修の実施	18
⑧その他	1

※その他:協働プロジェクト

(2) 所員への研修についての課題

①研修・相談・講師派遣等の増加による多忙化のため、研修期間・時間の確保が困難	40
②特別支援教育に対応するための共通理解等、全所員の専門性の向上	36
③専門性を一層高めるための特別支援教育担当所員の研修	33
④外部講師招聘や県外出張等のための予算措置	17
⑤所員対象研修の未実施	0
⑥学校園のニーズの正確な把握とそれに基づく研修・研究内容の検討	18
⑦心理検査の結果の解釈等についての担当内共通理解	8
⑧その他	0

### 3 協議テーマ「関係機関とつながる教育センターの運営」に関する工夫や取組

- ・ 各自治体からの依頼に応じて巡回教育相談を実施し、適切な学びの場の判断に係る助言を行っている。
- ・ 関係機関が参集する協議会等に参加し、情報交換している。
- ・ 所員の研修として、関係機関を訪問することもある。
- ・ インクルーシブ教育システム構築のための研究や研修を行い、各学校での取組を支援している。
- ・ 教育支援センターを設置し、学校との連携を図りながら生徒を支援している。
- ・ 県教委と連携した、特別支援学級や通級指導教室の新担当を対象とした研修講座を実施している。
- ・ 福島県総合療育センターと福島県発達障がい者支援センターとの3センター協議会を立ち上げ、定期的な情報交換や事例検討等を行っている。
- ・ 県教育委員会との連携
- ・ 県教育委員会が企画・実施しているインクルーシブ教育推進に係る事業での連携
- ・ 特別支援教育総合研究所主催のセミナーに積極的に参加し、情報収集を図る。
- ・ 特別支援学級においては、特別支援教育の経験が浅い教員が多いことから、調査・研究での成果物の活用方法を県内各地域の教育事務所や特別支援教育研究連盟主催の研修会で伝達講習を実施している。
- ・ 切れ目のない支援の構築や適切な学びの場の提供について、各市町村教育委員会、発達障害支援センターなど関係機関との情報提供や研修会への参加を実施している。
- ・ 相談者を取り巻く機関の連携は当然であるという雰囲気作り。他機関が運営する相談会への相談員としての協力や訪問研修依頼に応えられるよう、専門性向上のための研修の実施や資料作成・蓄積。
- ・ 各市町の特別支援教育に関わる関係機関が集まる協議会に参加する。
- ・ 顔合わせを含め、「つながる」まずは担当者間で連携を取り合うように推奨
- ・ 相互に「風通しのよい」関係づくり目指している。まずは各機関の専門性を理解し、遠慮せずに事例検討を中心に積極的に情報交換を行う。
- ・ 「教職員研修会サポート」事業により各校のサポート
- ・ 担当主事間の情報交換(県・市町村)
- ・ 県内の発達障害者支援センター、入所型医療福祉施設、障害者就業・生活支援センターに勤務する医師や臨床発達心理士、作業療法士等を講師に招いて研修を行っている。
- ・ 県の教育委員会事務局との連絡会の実施や特別支援教育推進のための会議に参加し、情報の共有を図る。
- ・ 要請のあった2市町村教育委員会が所管する小・中学校各1校に訪問(各校5回)し、地域における特別支援教育の推進を支援する事業に取り組んでいる。
- ・ 各市町と連携して特別支援教育に関わる研修を実施している。
- ・ 県教育委員会と滋賀大学の両者の特別支援教育担当者が地域連携合同会議を定期的開催し、関係機関の連携が図れるような取組を計画し、実施している。(今年度はフォーラムを実施する予定)
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修において、福祉機関と連携がもてる機会を設けている。
- ・ 教育委員会と連携した学校園への指導助言
- ・ 小中学校等教員が不登校支援やフリースクールについて学び、高等学校教員が障害者就業・生活支援センターや特別支援学校の見学等をし、特別支援学校教員が就労機関について学ぶ研修の実施
- ・ 当係は県立総合リハビリテーションセンター内にあり、教育の他、医療や福祉等の関係部署もある。ケースに応じて、関係機関とつながり情報共有等を行っている。
- ・ 本県特別支援教育の充実、インクルーシブ教育システム構築を一層推進するため、特別支援教育室担当者と合同指導主事会を開催し、共有した情報を業務に生かしている。
- ・ 定期的に島根県教育庁特別支援教育課と会を設定しながら、県の施策に基づいた研修の実施に向けて検討している。また、各教育事務所の特別支援教育支援専任教員と連携し、新任の特別支援学級担任・通級による指導担当への研修や学校訪問を実施している。
- ・ 県教育庁特別支援教育推進室と連携し、「通常の学級における特別支援教育授業づくりセミナー」に取り組んでいる。
- ・ 発達障がい者支援センターと連携し、広く県民を対象とした発達障がいに関する講演会を実施
- ・ 誰もが特別支援教育について学べるe-ラーニング教材や研修動画をホームページに公開
- ・ 各種研修講座に言語聴覚士等の専門家を講師として招聘
- ・ 県特別支援教育課が実施するインクルーシブ関連事業へのセンター主事の参加
- ・ インクルーシブ関連研修への大学教員の招聘
- ・ 県教委(特別支援教育課)と連携し、学校や受講者の状況についての情報共有や、研修、協議会の内容についての整理を行っている。
- ・ 教育センター、県教育委員会、県療育医療センターの三者で定期的に情報交換の場を設け、研修設定の参考にしていく。
- ・ 教育センター、県特別支援教育室、教育事務所で定期的に情報交換を行い、専門性の高い後継者育成等について検討し共通理解を図っている。
- ・ 宮崎県教育センターとの連携を通して情報共有を行い、他県センターの取組を参考に、本センターに生かしていく。
- ・ 県教育委員会との意見交換
- ・ 特別支援教育コーディネーター養成研修において、それぞれのステージ(初担当・中級・上級)に応じた福祉や心理の専門家や保護者を講師招聘し、役割やそれぞれの思い、具体的な連携の在り方等についての内容を設定している。
- ・ 関係機関合同協議会への参加
- ・ 発達障害支援センターとの定期的な情報交換会を行っている。
- ・ 本センターでは、「千葉県特別支援連携会議」を設置し、特別な支援を要する子どもに関わる関係機関のネットワーク構築と乳幼児期から成人までライフステージに応じた適切な支援が受けられる体制づくりに努めている。
- ・ 学校機関だけでなく、他局等とインクルーシブ教育システム推進の理念について、他機関との会議や研修等で共有している。
- ・ インクルーシブ教育システムの構築に向けて各校で推進する要は特別支援教育コーディネーターであると捉え、コーディネーター研修の改善を図っている。
- ・ 特別支援学校のセンター的機能の一環として、医療・心理分野の専門家を交えたチームを編成し、小・中学校等への支援・助言を実施している。
- ・ 教育委員会と教育センターの特別支援教育に関する研修機能の統合及び子ども青少年局の教育相談との連携により対応
- ・ 年間5回、教育センターと発達障害者支援センターとの合同セミナーを実施している。(特別支援学級等新規担当教員研修、土曜特別セミナー)
- ・ センター所員がアンテナを高くし、最新の教育情勢を把握するよう努めている。(個別最適な授業づくりを進めている学校の研修会に参加する等)
- ・ 教職員の研修を担当する教育センターと就学支援、巡回相談等を担当する教育支援課(当課)との連携
- ・ 国立特別支援総合研究所のサイトやパンフレットの紹介
- ・ 本市は、学校教育課・教育センター・青少年相談センターと支援教育に係る部署が3課に分かれており、施策推進に関すること・教員の研究研修に関すること・就学相談や教育相談に関すること、それぞれの専門性を発揮しつつ、月に2回定例会を開催し細やかな情報連携を行いながら、支援教育を推進している。市内の発達相談センター等の職員を研修講師として招くなどし、連携を図りながら進めるようにしている。
- ・ こども家庭センターや医療機関との連携
- ・ 保育所等訪問支援事業を活用して、放課後等ディサービス事業所との連携を行っている。
- ・ 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるや児童相談所、医療機関等と連携を図るケース検討会議を行っている。